

第五十一回帝國議會
衆議院

關稅定率法中改正法律案(政府提出) 委員會會議錄(速記) 第六回

會議

大正十五年二月八日(月曜日)午前十時
四十三分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 加藤政之助君

理事 吉津 度君

理事 岩切 重雄君

橋本 喜造君 飯塚春太郎君

神部 爲藏君 太田信治郎君

奥村 千藏君 三好榮次郎君

中島 守利君 松本 眞平君

堀切善兵衛君 山本条太郎君

佐々木文一君 長田 桃藏君

星島 二郎君 山内 範造君

本多貞次郎君 沼田嘉一郎君

清水 長郷君 佐々木平次郎君

岡田 溫君 倉元 要一君

出席國務大臣左ノ如シ

大藏大臣 濱口 雄幸君

商工大臣 片岡 直溫君

出席政府委員左ノ如シ

外務政務次官男爵 矢吹 省三君

大藏政務次官 武内 作平君

大藏省主稅局長 黒田 英雄君

大藏技師 矢部規矩治君

農林政務次官 小山 松壽君

商工政務次官 柵瀬軍之佐君

商工參與官 野村 嘉六君

商工省工務局長 宮内國太郎君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

關稅定率法中改正法律案(政府提出)

○加藤委員長 ソレデハ是ヨリ前日ニ

引續イテ關稅法中改正法律案ノ委員會

ヲ開キマス、ソレデ今日ハ成ベク午前

ニ大藏大臣ニ對スル質問ヲ終了シタイ

ト思ヒマス、大臣ハ他ノ關係デ餘程御

困リノヤウデスカラ、ソレデハ星島二

郎君

○星島委員 質問ヲ致シマス前ニ議事

進行ニ付テ委員長ニ一寸御願ヲ致シタ

イノデアリマスガ、特ニ本日質問ヲ致

シタイト思フコトハ、主ニ午前中大藏

大臣ニ御願シタイト思フノデアリマス

ガ、其關聯スル所商工省トノ關係ガ非

常ニ深イノデアリマシテ、商工大臣ニ

御出席ヲ求メタイト思ヒマス、同時ニ

軍事產業ニ付テ質問ヲ致シタイト思ヒ

マスノデ、軍事產業ニ關シテ當局ノ陸

海軍ノ誰方カノ御出席ヲ願ヒタイ、質

問中デモ宜シウゴザイマスカラ……

○加藤委員長 ソレハ午後デハ如何デ

スカ、大藏大臣ニ單純ニ質問ヲ致シテ

置イテ、午後ニ商工大臣及陸軍關係ト

云フコトニシタラドウデス、サウ願ヒ

タイ、サウセスト錯雜シテ整理上ニモ

困リマス

○星島委員 關聯シテ居ルコトデアリ

マスカラ、又後デ商工、陸軍大臣ノ答辯

ヲ求メルコトニ致シマス、大藏大臣ニ

於キマシテモ連日御疲レノコトト思ヒ

マスガ、非常ニ重大ナ件デアリマスカ

ラ、暫ク總體ノ質疑ヲ御容レ下サルコ

トヲ願ヒマス、私ハ先般農林大臣ニ御

尋致シタルデアリマスガ、併ナガラ滿

足ナル御答辯ヲ得ルコトガ出來ナカッ

タルデアリマス、是ハ矢張今回ノ改正

案ノ主管デアラセラルル大藏大臣ニ其

問題ヲ御尋シテ御答辯ヲ得タイト思フ

ノデアリマス、ソレハ先般或ハ本會議

ニ於ケル提案ノ趣旨御説明ノトキニ、

尙ホ本委員會ニ於キマシテモ伺ッタル

デアリマスガ、詰リ本改正案ヲ提案サ

レマシタル所ノ根本概念、基本概念デア

リマス、大藏大臣ハ先般モ國民生活ノ

安定、主要產業ノ保護、或ハ從價從量ノ

關係、此三ツノ關係ニ付テ主ニ考慮ヲ

加ヘタト仰セラレマシタガ、私ノ聞カ

ント欲シマスル所ハ、斯ウ云フ十數年

ニ一回始メテ大改正ガ行ハレ、殊ニ今

日我國ニ取リマシテハ實ニ產業立國、

詰リ產業戰爭ト云ヒマスルカ、平和ノ

此大戰爭ニ當リマシテノ絶好ノ時代或

ハ其驅引時代ニ此關稅ノ改正ヲサレル

ニ當リマシテハ、定メシモウ少シ具體

的ナ基本概念——關稅改正調查會ヲ召

集サレマシテ諮問サレタト思ヒスル

ガ、其諮問サレルニ當リマシテ、單ニ國

民生活ノ安定、主要產業ノ保護ト云フ

ヤウナコトヲ趣旨ト致シマシテ御命ジ

ニナッテ、其範圍ニ於テ宜シクヤッテ吳

レト云フノデハナクシテ、何カモウ少

シ、斯ウ々々斯ウ云フモノハ國家ノ實

ニ主要產業デアアル、故ニ徹底的ニ保護

ヲセヨ、或ハ是レ々々ハ軍事產業トシ

テドウシテモ獨立セシメンケレバナラ

ヌカラ、徹底的ニ保護ヲセヨ、斯ウ云フ

方面ハ到底日本デハ駄目ダカラ無稅ニ

シロト、何カモウ少シザックバラニ打

解ケマシテ、或ハ委員會ニ於キマシテ

甲、乙、丙、丁、或ハ一、二、三、四ト別ケ

マシテ、是ハ徹底的ニシロトカ、是ハ好

イ加減ナ程度デ宜イトカ、何カ具體的

ナ根本ノ基礎ヲ持ッテ居ラルルデアラ

ウト思フ、私ハ農林大臣ニ御尋ヲ致シ

マシタルハ、日本ノ農村生活ヲ本當ニ

安定ナサレル爲ニ、殊ニ農林省ガ獨立

致シマシテ一省トナッタ以上、大藏省ニ

ウント突込ンデ要求ナサレタラウト

思ッテ、實ハ農林大臣ニ御同致シマシタ

ガ、サウ云フ方面ハ漠トシテ、今農村振

興ニ對シテ政府ハ考ヘテ居ナイト云フ

輿論ガ一般ニ廣マッテ居ルノデ、實ニ失

望致シタルデアリマスガ、私ハ改正委

員會ガ何同カ開カレマシテ、サウシテ

サウ云フ細目ガアルト云フ議論ガ立チ

マシテ、其改正委員會ガ度々開カレル

前ニ當ツテ、根本ノ概念ト致シマシテ大藏大臣ハ何カ部分的ニデモ別ケラレテ、是ハウント徹底シテ保護セヨト云フコトガアッタラウト思ヒマスガ、サウ云フ點ニ付テ若シ此際御示シナレバ、是カラ調査スル此委員會ニ於キマシテ非常ニ便利デアルト思ヒマス、此改正案ノ根本トシテ、先ヅ此點ニ付テ大藏大臣ノ御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス

○濱口國務大臣 是ハ他ノ委員諸君ノ御質問ニ對シテ御答ヲ致シテ置キマシタ通りデアリマス、大體ニ於テ關稅調查會ノ方針ト致シマシテハ、本會議デモ説明ヲ申シテ置キマシタ通り、第一、第二、第三、第四ト云フ如キ分類ニ區別ヲ致シマシテ、其方針ヲ以テ調査ヲスルト云フコトニ致シタ譯デアリマス、只今ノ御質問ヲ承ツテ居リマスルト云フト、或ル具體的ノ品物ニ付テ、斯ウ云フモノハ第一種類ニ屬スル、斯ウ云フモノハ第二種類ニ屬スル、斯ノ如キ品物ハ第三種類ニ屬スルト云フヤウナコトヲ指示シマシテ、ソレニ適當ナル稅率ヲ定メルト云フ如キ方針ヲ授ケタノデハナイノデアリマス、即チ重要産業デアツテ今ニ發達ノ道程ニアルモノ、又發達ハシテ居ナイガ新ニ成立ノ見込ノアルモノ、是ニハ必要程度ノ最少限度ノ保護ヲ與ヘルト云フコトニシタイ、而シテ其産業ノ中、何レガ果シテ其種目ニ屬スルカト云フコトニ付テハ、是ハ

委員會ニ於ケル所ノ調査研究ニ委ネタノデアリマス、其他原料品ニ致シマシテモ、亦第三種類ニ屬スル所ノ事業ノ基礎鞏固ナルカ、又ハ我國ニ生産ガ豐富デアツテ、外國品トノ競争ニ十分ニ堪ヘ得ル狀態ニ達シテ居ルモノト云フ如キ物ニ付テノ方針ヲ示シマシタノデ、其何レガ事業ノ基礎ガ常ニ鞏固デアルカ、其何レガ外國品トノ競争ニ堪ヘ得ル狀態ニ達シテ居ルカト云フコトニ付キマシテハ、是ハ委員會ノ調査研究ニ委シタノデアリマス、サウシテ豫メ其品物ヲ指定致シマシテ、是ハ斯様ニシロ、是ハ斯様ニシロト云フコトノ方針トシテハ、別ニ示シテナイノデアリマス、サウシテ能ク起リマシタ問題ハ、大體ニ於テ保護貿易主義ヲ採ルカ、自由貿易主義ヲ採ルカト云フヤウナ議論モ起ツタノデアリマスケレドモ、サウ云フ漠然タル方針ヲ決メテ此關稅率ノ改正ヲスル譯ニハ參ラヌ、要スルニ如何ナルモノヲ保護スベキカ、如何ナルモノヲ自由放任ニスベキカト云フ事柄ハ、其一つ々々ノ品物ニ付テ、内外ノ生産ノ狀況ト云フモノヲ仔細ニ之ヲ調査研究ヲ致シ、其調査研究ノ結果トシテ、是ハ保護スベキモノデアアル、是ハ放任スベキモノデアアルト云フ判斷ヲ下ス外ニハナイト云フノデ、要スルニ大體ノ分類ヲ示シタダケデアツテ、其分類ノ適用ニ付テハ一品一物ニ付テ一つ々々調査研究ヲ致シ、ソレニ依テ決定ヲ致シタ

ト云フ御答ヲ申上ゲル外ハナイノデアリマス
○星島委員 私ガ伺ハントシマスルノハ、此關稅改正案ヲ組ミマスル際ニ當リマシテ——私ハ十數年ニ初テ大改正ガ起ルノデアリマシテ、大正十年ノ小改正ノトキニ私モ委員ト致シマシテ、其當時徹底的ニ保護スベキモノハ保護スベシト云フヤウナ考ヲ以チマシテ、意見ヲ述ベタコトモアッタノデアリマシガ、政友會等ニ於テモ産業立國ヲ高調シ、是ハ政友會ノ獨リ看板デナクシテ、總テノ國民、總テノ黨派ガ、今日産業立國デナケレバナラヌト云フコトハ、總テ議論ノナイコトデアリマスガ、私ハ此議會ニ於テ色々ナル法案ガ出マスケレドモ、實際此産業立國ノ大政策ヲ決メル前ニ、關稅一ツデ總テガ決マル譯デモアリマセヌガ、其斥候戰ト申シマスカ、駈引ト申シマスカ、國家ノ産業戰爭ノ第一線ニ立ツ法案デアリマスカラ、人一倍ノ興味ト熱誠ヲ以テ當ツテ居ルノデアリマシテ、私ノ聞カントスルモノハ、例ヘバ實際ハ此處ニ打明ケタ話デアリマスガ、今迄在來ノモノヲズツトヤツテ、是ハ好イ加減ノコトデ宜イ、上ゲイトカ下ゲイト云フコトデ組マレタノデハナイカ、詰リ大藏省ノ人ガ大勢押掛ケテ行ツテ、サウシテ色々駈引ヲヤツテ、是ハ儲カル、儲カリ過ギルカラ引込メト云フ程度デ、頭ノ良イ局長ト、此邊ノ活神様ト評判サレテ居ル矢部博

士ノ如キガ居ラレテ、サウシテ關稅ノ改正委員會ヲ好イ加減ニヤラレタノデ、八分通りハ矢部サンガヤラレタウニ見ラレルノデアリマス、サウ云フコトデハ折角ノ大改正ガ意味ヲ爲サヌ、是ハ商工省、農林省アタリカラ突込ンド、是ハ徹底的ニ保護スベキデアルト云フヤウナ大綱ヲ示メサレタニ相違ナイ、兩省ガ別レテ折角産業戰爭ヲヤラウト云フコトニナツテ居ル、其根本精神ヲ御尋シテ居ルノデアリマス、此點ニ付テハ實際各論ニ這入ツテ、局長或ハ矢部博士アタリニ突込ンド御尋スルコトニシテ、此質問ハ今致シマセヌ、次ニ伺ツテ見タイト思ヒマスノハ、是ハ商工大臣並ニ農林大臣トノ關聯シタ御尋デアリマスガ、私ハ大藏大臣ニ特ニ此際御尋シテ見タイト思フノハ、今日大藏省ニハ人材ガ集ツテ居ツテ、一面カラ言ヒマスレバ大藏省萬能主義デアアル、今度ノ改正案ニ付テモ農林省ヤ或ハ商工省カラノ突込ミガ足ラナイト云フ點ガ見エテ居ル、現ニ農產物ノ保護ノ問題ニ付テ其片鱗ガ現レテ居ル、是ハ頭ノ良イ人ガ大藏省ニ集ツテ——語弊ガアリマススケレドモ、實際ノ關稅ノ稅務ハ大藏省ガヤラレル、是ハ主稅局ハ帳面ノ付ケ方ヲヤツテ居ラレバ宜イ、産業戰爭ハ宜シク商工省、農林省ガ主管トシテヤラレルガ本質デハナイカト思ヒマス、殊ニ主ナル點ニ行キマスレバ、將來或ハ關稅ノ常設委員會ガ設ケラレルト

云フコトヲ既ニ御發表ニナツテ居リマ
スシ、今後大藏大臣ハ一ツ心ヲ披カレ
テ、此關稅ニ關スル主ナル事務ハ、商工
省カ或ハ農林省カ、其方ニ主管ヲ移サ
レテ、大藏省トシテハ單ニ稅額ノ盛リ
方ダケニスル、陸軍、海軍ノ豫算ヲ組ム
ニ當リマシテモ、陸海軍ガ自ラ立案シ
テ、之ヲ大藏省ニ示サレバ、サウシテ大
藏省ハ其多イ少イヲ決メラレト云フ
コトニシナケレバナラヌト思ヒマス、
私ハ産業戰爭、平和ノ戰爭ニ於テハ、此
商工省、農林省ハ一面カラ言ヒマスレ
バ商工省ハ海軍デアル、農林省ハ陸軍
デアル、サウシテ此戰爭ニ打突カルノ
デアル、商工省、農林省ノ方ガ主トシテ
稅率問題ヲ研究シテ、總テノ政策ヲ立
テテ、大藏省ノ稅務局ニ向ツテハ唯其
「バランス」ヲ持ツテ相談ニ行クト云フ
ヤウナ程度マデニ、是ハ行カナケレバ
ナラヌト思ヒマス、其概念ハ即チ收入
ノ多イトカ少イトカ云フヤウナ事ニツ
イ興味ヲ持ツタリ、或ハドウシテモ専門
家トシテ大藏省ニ居ル方ハ商工業ノ方
ニ偏シテ來ル、趣味ガアル、總テサウ云
フ調子ガアル、サウ云フ關係カラシマ
シテ、ドウシテモ産業戰爭ノ根本ノ確
立カラ言ヒマスレバ、私ハ是ハ一ツ商
工省或ハ農林省、或ハ其以上ニ立ツテ、或
ハ内閣ノ直屬ニシテ、此關稅ノ事務ト
云フモノヲ特殊ノ機關トシテ設ケラレ
ル必要ハナイデアラウカト云フヤウナ
コトヲ痛切ニ感ズルノデアリマス、是

ハ今回ノ改正案ヲ組マレル根本ヲ聞イ
テ見マスルノニ、總テガ大藏省本位デ
アツテ、サウシテ先般ノ早速農林大臣ノ
御答辯ノ如キヲ聽キマス、腰ガ弱イ
ヤウナ演說ヲシテ居ラレバヤウデア
ル、ト云フノハ總テ斯ウ云フ方面ニ於
ケル知識ガ寧ロ大藏省ニ集ツテ居ル、秀
オガ——ソコデ實際ニ於テ總テヲ大藏
省ニ握ラシテ居ルト云フ觀ガアル、是
ハ心ヲ披イテ寧ロ農林省、商工省ニ移
シテ、將來關稅改正委員會ニシテモ、常
設委員會ニシマシテモ、斯ウ云フ方面
ニ移管サレルカ、或ハ内閣ノ直屬ニ移
サレルカ、或ハ亞米利加アタリノ「タリ
フコン、ミチー」ノヤウニ大統領ニ直屬
サレルヤウナ、サウ云フ御考ハアリマ
セヌカ、本委員會ニ於テハ先程難談ノ
中ニ、總論ハ宜イ加減ニシタラ宜イデ
ハナイカト云フヤウナ御話ガアリマシ
タガ、實際斯ウ云フ大改正ヲサレル時
ニハ、總論ニ餘程議論ノ花ガ咲カナケレ
バ本當デハナイト思ヒマス、是ハ大ニ
國民ガ注意シテ居ル點デアリマス、カ
ラ、其點ニ付テ大藏大臣ノ御所見ハ如
何デアリマスカ

○濱口國務大臣 關稅ノ決メ方ガ國家
ノ産業、即チ其産業ト申シマスレバ、工
業ノミデナクシテ、或ハ農業、商工業、其
他水産業、林業、總テノ産業ニ非常ナル
大影響ガアル、其國民ノ利害休戚ニ關
スル所ハ頗ル重大ナモノデアルト云フ
コトハ申ス迄モナイ事デアリマス、星
島君ノ御說ト正ニ私ハ一致シタル意見
ヲ持ツテ居リマス、而シテサウ云フ重要
ナル事柄デアリマスルガ故ニ、政府部
内ニ於キマシテ其所管ヲ定メル時ニ於
キマシテモ、又其調査ヲ致シマシテ改
正案ヲ議會ニ提案スルニ方リマシテ
モ、獨リ一省ノ意見ヲ貫徹スル、サウシ
テ他ノ省ノ意見ヲ輕視スルト云フコト
ハ決シテ出來ナイコトデアリマス、即チ
此度ノ改正案ノ調査ニ方リマシテモ、
農林省、商工省、外務省、大藏省、此關係
四省ヨリ委員ヲ選定致シ、又其原案ヲ
作ルニ方ツテモ、關係四省カラ相當ノ人
ヲ選ンデ幹事會ヲ組織致シマシテ、此
四省ノ意見ノ合致シタル所ヲ以テ大藏
大臣ニ報告スル、斯ウ云フコトニナ
ツテ居リマス、而シテ其幹事會ヲ開イ
テ審議スル間、又委員會ヲ開イテ審議
スル間ニ於キマシテモ、此關係四省ノ
意見ト云フモノハ悉ク圓滿ニ一致ラシ
タノデアリマス、ドノ省ノ主張ガ通
テ、ドノ省ノ主張ガ通ラナカッタト云フ
ガ如キコトハ毛頭アリマセヌノデ、完
全ニ是ハ一致シタル所ノ政府ノ意見デ
アリマス、御說ヲ伺ツテ居リマス、色
色御心配ノ結果デアラウト考ヘマス
ガ、農林省ノ主張ガ弱カッタト云フヤウ
ナ事モアリマスケレドモ、サウ云フコ
トハ決シテアリマセヌ、皆各國家本位
デ以テ適當ナル所ニ此案ヲ定メタ譯デ
アリマス、其點ハ御安心ヲ願ヒタイト
考ヘマス、而シテ將來ニ互テ此關稅ノ

事柄ヲ何處デ管轄スルノガ宜シイ
カ、又議會後ニ於キマシテハ、關稅ノ調
査委員會ト云フモノヲ政府部内ニ設ク
ルコトニナラウト考ヘテ居リマスガ、
サウ云フ場合ニ於テハ、其主管省ハ何
處ニスルカト云フコトニ付テノ御意見
モアリマシタガ、是ハ今迄ノ沿革カラ
考ヘマシテモ、又稅關ト云フ一ツノ重
要ナル機關ヲ大藏省ガ持ツテ居リマシ
テ、其稅關ニ於キマシテ輸出輸入ノ各
品目ニ對シ、相當ナル所ノ取扱上ノ知
識經驗ヲ持ツテ居ルト云フ點カラ申シ
マシテ、大藏省ニ於テ之ヲ管轄スルノ
ガ便宜デアリ、且ツ相當デアラウト私
ハ今日考ヘテ居リマス、只今星島君ノ
御話ヲ伺ツテ居リマス、或ハ商工省、
或ハ農林省ト云フ御話モアリマシタ、
私ハ決シテソレヲ排斥スル意味デハア
リマセヌガ、統一ヲ圖ル便宜ノ上カラ
申シマシテ、又其機關ノ組織ノ上カラ
申シマシテ、大藏省ニ於テ之ヲ管轄
スルノガ適當デアラウト云フ考ヲ持
テ居リマス、尙ホ星島君ノ御意見ハ、是
ハ御意見ト致シマシテ能ク承ツテ置キ
マシテ、他日ノ參考ニ供スルコトニ致
シタイト思ヒマス

○星島委員 私ノ青臭イ議論ヲ參考ニ
致サレタコトヲ感謝スルノデアリマス
ガ、私ハ希望トシマシテハ、寧ロ内閣直
屬ノ大キナ組織ニサレマシテ、是ニハ
調査部モ設ケラレテ、十分ナル産業戰
爭ノ斥候戰トシテノ働キヲスルヤウニ

希望スルノデアリマス、實際カラ言ヒマスレバ、私ハ農林省ノ所管デアル産業組合ノ中ノ金融部デアル信用組合ノ如キモノハ、寧ロ大藏省ニ返シタ方ガ宜イ、サウシテ斯ウ云フモノヲ一ツ農林省ニ貰フコトニシタ方ガ適當ダラウト思ヒマス、殊ニ市街地信用組合ノ如キモノハ——中央金庫ノ案ノ時ニモ隨分問題ニナツテ居リマスガ、斯ウ云フモノハ綺麗サツバリ大藏省ニヤツテシマツテ、斯ウ云フモノヲ農林省ガ取ルト云フ方針ヲ以テオヤリニナルコトヲ望ムノデアリマスガ、其點ハ是デ止メテ置キマシテ、次ニ先般山本氏ヨリモ度々御質問ガアッタノデアリマスガ、國際「バランズ」ヲ旨ク調節スル爲ニ、先年來贅澤品ニ對スル關稅ヲ引上ゲラレ、或ハ國民ニ勤儉力行ヲ獎勵セラレタ點ニ付キマシテ、私共ハ大藏大臣ノ御努力ニ對シマシテ深甚ナル敬意ト感謝ヲ表スルノデアリマス、併シ今少シク自分ハ徹底シナイ、贅澤品ニシマシテモ、「ダイヤモンド」ノ小サイノヲ買フノハ色々ノ意味ニ於テ贅澤デナイカモ知レナイ、必需品デアリマシテモ、澤山必要以上ノ物ヲ持チマスレバ贅澤ニナル、私ハ日本ハ當分——五年ヤ六年デハナイ、或ル意味ニ於テハ暫クノ間輸入超過國デアアル、英吉利ノ如ク、アレホド貿易ノ旺シナ國デアリマシテモ輸入超過ノ國デアアル、英吉利ハ幸ニシテ植民地ノ關係上、ソコニ計算ガ旨ク「バラン

ス」サレルノデアリマスガ、日本ノ植民地ハ未ダ幼稚ニシマシテ、寧ロ貸方ノ方ガ多イ、當分輸入超過ト云フコトハ中々防遏出來ナイト思フノデアリマシテ、サリトテ段々正貨ハ減ツテ來ル時代ニ立チマシテ非常ニ心配ナ事デアアル、ソコデ單ナル消極的ノ勤儉力行、或ハ贅澤品ノ輸入防遏ノ爲ニ之ヲ高率ニシタト云フ事以外ニ、政府ハモット進ンデ、到底日本デハ生産ノ出來ナイヤウナモノデ、ドウシテモ國民ノ必需品デアル例ヘバ羅紗地ノヤウナモノ、羊毛ノヤウナモノ、是ハ如何ニ日本デ養羊ヲ獎勵サレマシテモ需要ニ應ズルコトハ出來ナイ、斯ウ云フモノニ對シマシテ、進ンデ輸入防遏ノ手段トシマシテ、例ヘバ國民ハ洋服ヲ何著以上持ツテ居ルトカ、ソレ以上持ツタラウント税金ヲ取ル、或ハ「ブロック」ヤ「モーニング」ハ裾ガ長イカラ之ヲ剪ルトカ、或ハ一時農商務省デヤラレマシタ廣幅宣傳ノヤウナモノヲモット徹底サレマシテ、御互ニ「セル」地ヤ其他ヲ儉約シテ使フト云フヤウナ積極的ナ輸入防遏手段ヲ講ズル、ソレハ單ニ贅澤品ノミナラズ、必需品デアリマシテモ、必要以上ノ數量ヲ持ツコトニ對シマシテ、政府ハ取締ラレルト云フヤウナ態度ニ出ラレルコトガ、此セチ辛イ日本ノ非常ナ輸入超過ノ悲觀スベキ時代ニ方リマシテ必要ト思ヒマスガ、其邊ニ付キマシテ政府ハ御用意アリヤ否ヤ、伺ッテ見タイト思ヒ

マス
○濱口國務大臣 日本ノ國際貸借ノ關係ガ甚ダ順調デナイ、サウシテ將來ニ向ッテモ此改善ハ中々一朝一夕ノ業デナイト云フコトハ、私モ深クソレヲ認メテ居リマス、申ス迄モナク日本ハ天惠ノ乏シイ國デアリマシテ、此狹イ國土ノ中ニ於テ原料、材料品ヲ產スルコトガ少イノデアリマスカラ、是ハ主トシテ外國カラ仰ガナケレバナラス、是ニ於テ輸入ガ非常ニ多クナル、斯ウ云フ關係ニナツテ參リマスノデ、其事情ハ恰モ英本國ニ似テ居ルデアリマセウ、唯英吉利ノ如キハ、申ス迄モアリマセヌガ外國ニ對シテ非常ニ巨額ノ債權ヲ持ツテ居ル、其債權ノ利子ヲ受取リマスニ依テ、貿易ノ逆調カラ生ズル所ノ正貨ノ出ルベキ金額ヲ補ツテ尙ホ餘リガアルト云フガ如キ狀態ニナツテ居リマス、日本ハ不幸ニ致シマシテ貿易上ハ輸入超過ノ傾ガアル、ソレヲ決濟スベキ貿易外ノ受取勘定、即チ主トシテ對外債權ト云フモノヲ持ツテ居ルコトモアリマセヌノデ、兩面ニ於テ非常ナル不幸ナル國柄デアリマス、是ニ於テ其狀態ヲ將來改善ヲスルト云フコトニ付テハ、非常ニ骨ガ折レルト思ヒマス、是ハ獨リ政府ノ施設ノミデハ參リマセヌ、國民ノ自覺ニ依リマシテ非常ナル努力奮勵ヲ要スルコトデアラウト思ヒマス、而シテ此間ニ立ッテ政府ガ如何ナル施設ヲ爲スベキヤト云フコトニ付

テハ、相當ノ苦心モ致シタコトデアリマスルガ、屢申シマス通り財政ノ整理緊縮ヲ行ツタノモ、一ツハ其目的カラ出タノデアリマス、國民ニ向ッテ勤儉力行ヲ獎勵シ、消費ノ節約ヲ宣傳シタト云フコトモ、無論一ツハ其目的ニ出テ居ルノデアリマス、贅澤品稅ノ引上ト云フコトニ付キマシテモ相當ニ考ヘマシタガ、無論サウ云フ事ノミデハ到底此目的ヲ達スルコトハ出來マセヌノデ、星島君ノ御指摘ニナリマシタ通り、其品物ノ性質如何、品質如何ト云フコトモ無論必要ト贅澤トヲ區分スル標準デアリマスガ、又其數量ノ點ニ於テモ必要ト贅澤トヲ區分スル標準ガアルト思ヒマス、例ヘバ木綿ノ著物デアルナラバ是ハソレ自體ニ於テハ生活ノ必需品デアリマスケレドモ、ソレヲ非常ニ澤山持ツテ居ルト云フ者ハ、無論是ハ贅澤ノ部ニ屬スルト思ヒマス、併シ斯ウ云フモノヲ政府ガ稅ヲ取ルト云フ方法ハ輸入稅ヲ高メルト云フ方法、若クハ內國稅ヲ増徴スルト云フヨリ外矯正ノ仕樣ガナイノデアリマス、是ハ一ニ國民ノ自覺ニ俟ツ外ナイト思ヒマス、其意味ニ於テ廣ク一般的ニ、組織的ニ消費節約ノ宣傳ヲ行ッテ居ル積リデアリマス、サウ云フ所ニ入リマス國民ノ私經濟ニ屬シ、殆ド箚笥ノ抽斗ニマデ干涉スルト云フコトニナリマスカラ、是ハ政府ノ政治ノ遣方ニ依テ、ヤルコトハ少シムズカシイ事柄デ、全ク國民ノ自覺

ト努力ト決心トニ俟ツ外ナイト思ヒマシテ、内閣組織以來其方針ヲ以テ總テノコトヲヤッテ居ル積リデアリマスガ、マダ今日ノ施設ヲ以テ完全ナリトハ申シマセヌ、ソレ故ニ將來總テノ點ニ涉リマシテ十分ニ調査研究ヲ致シ、苟モ國際貸借ノ改善ニ貢獻スル所ガアルデアラウト考ヘマシタ事柄ニ付テハ、財政ノ許ス範圍内ニ於テ出來得ル限リソレヲ採用致シマシテ、成ベク國際貸借ノ改善ニ向テ努力スルコトニ致シタイ考デ居リマス、大體ノ御趣意ニ付テハ無論星島君ト御同感デアリマス

セヌガ、大體ニ於キマシテ從價ヨリモ從量主義ヲ採ラレテ居ルヤウニ見エルノデアリマスガ、斯ウ云フ弊害ガ多イノデハナイカト思ヒマス、爲替相場ハ常ニ變動スル、サウシテ爲替ガ下落シタ場合ニ於テ、從量主義ニ偏シテ居ルト、實際ハ非常ニ政府ノ改正案ノ目的ニ副ハナイデ、何割ト云フ違ヒガ起ッテ來ル、ソコデ從量、從價ヲ並用シタ方ガ却テ公平ニナリハシマセヌカ、多分從量主義ニ爲サレタノハ、稅務關係ノ方ガ非常ニ面倒臭イト云フノデ從量ニ爲サツタノデアリマセウガ、從量、從價ヲ並用シテ行ケバ、成程繁雜ニハナルカモ知レマセヌガ、其方ガ公平ヲ期スルコトニナリマス、例ヘバ橫濱ノ市價百圓ノ物ニ對シテ從價モ一割、從量モ一割斯ウ云フヤウニスレバ、爲替相場ガ下ツタ時モ、騰ツタ時モ、中庸ヲ保ッテ公平デハナイカ、是ハ極メテ小問題デアリマスガ、斯ウ云フ方面ニ付キマシテ政府ニ於キマシテハ何カ御腹案ハナイデセウカ、從量ニ偏スレバ爲替相場ノ變動毎ニ此目的ハ達セヌコトニナリマス、尙ホモウ一ツ政府ハ此保護ヲ徹底セシメル爲ニ、今ハ無イガ將來日本デ斯ウ云フモノヲ獎勵シタイ、斯ウ云フモノニ對シテ豫メ定率ヲ決メレバ——

今日日本ニハ斯ウ云フ產業ガ起ッテ居ナイガ、將來起ルト云フ豫想ガ出來テ、ソレニ對シテサウ云フ御用意ハナイカ、此點ニ付テ御聞シタイト思ヒマス

○濱口國務大臣 初メノ御質問ノ續キガ出マシタカラ、私答辯ヲ漏シタ事ニ付テ申加ヘテ置キマス、廣幅ノ使用ヲ獎勵スルト云フ御意見、如何ニモ御同感デアリマス、政府ニ於キマシテモ其必要ヲ認メマシテ、廣幅ノ使用ヲ獎勵シ、之ヲ宣傳スル費用ト致シマシテ十五年度ノ豫算ニ於テ二十一萬圓ノ豫算ヲ要求シテアルト云フヤウニナッテ居リマス、其獎勵ハ政府ニ於テモ力ヲ盡シテ居ルト云フコトヲ御承知ヲ願ヒタイ第二ハ從量稅ト從價稅トノ事柄、ソレニ對シテ爲替ノ變動ノ事ニ付テ御述ニナリマシタ、此度ノ改正ニ當リマシテ是迄ノ從價稅ト云フモノヲ從量稅ニ改メルト云フ大體ノ方針ハ持ッテ居リマシタケレドモ相當ニ從量稅ニ改メタモノモアリマスガ、併シ其數ハ今私茲デ記憶ヲ致シマセヌガ、各條ニ互ッテ御説明ヲスルコトモアラウト思ヒマス、而シテ從量稅ニ致シマス、御説ノ通り爲替相場ノ變動ノアリマス時ニ於テハ、甚ダ工合ガ惡イノデアリマス、併シ從量稅ヲ採用致シマスノハ、主トシテ稅關ノ取扱ヲ簡便ナラシメルト云フコトノ外ニ、輸入業者ノ取引上ノ安定ヲ得セシメルト云フノガ主ナル理由ニナッテ居リマス、ソコデ爲替ノ變動ハドウカト申シマス、是ガ短期間ノ平均ヲ取リマス、將來ノ變動ニ對シテ價格ガ大分動キマスカラ、先日來御話申ス通り、過去一ケ年間ノ先ヅ大體安定ヲ

得ルニ近イト考ヘマシタ所ノ基準期間ヲ決メマシテ、其基準期間ノ平均ニ依テ從量稅ヲ算定致シマシタ事ニナッテ居リマスノデ、將來ニ向ッテ非常ナル爲替相場ニ激變ガアリマスナラバ兎モ角、然ラザル場合ニハ大シタコトハナイト考ヘマス、若シ將來爲替相場ニ思ハザル變動ノ結果、從量稅トシテ居タ爲ニ甚ダ不都合ナ事ガ生ズルト云フヤウナコトガ出テ來マシタ時ハ、是ハ此度設ケラルベキ關稅ノ調査會ノ議ニ附シマシテ、相當之ヲ是正シテ行キタイ、斯様ニ考ヘテ居ル次第デアリマス、第三ノ御質問ハ今日マダ成立ヲシテ居ナイ所ノモノニ對スル稅種ノ關係ガアリマス、是ハ此度十數年振ニ一般的ノ改正ヲ致シマシタケレドモ、十數年ニ互ッテ關稅ノ改正ヲ餘リヤラナカッタト云フコトヲ翻ッテ考ヘテ見マス、餘リニ長ク据置過ギタデハナイカト云フ考モアリマス、モウ少シ早く改正ヲスベキデハナカッタカト考ヘマス位デアリマス、其趣意ヲ以テ今度ハ關稅ノ調査委員會ヲ設ケマシテ、其委員會ノ決議ニ依テ種々ノ產業ニ付テ將來發達ヲスベキ——

今日日本ニハ斯ウ云フ產業ガ起ッテ居ナイガ、將來起ルト云フ豫想ガ出來テ、ソレニ對シテサウ云フ御用意ハナイカ、此點ニ付テ御聞シタイト思ヒマス

今日日本ニハ斯ウ云フ產業ガ起ッテ居ナイガ、將來起ルト云フ豫想ガ出來テ、ソレニ對シテサウ云フ御用意ハナイカ、此點ニ付テ御聞シタイト思ヒマス

今日日本ニハ斯ウ云フ產業ガ起ッテ居ナイガ、將來起ルト云フ豫想ガ出來テ、ソレニ對シテサウ云フ御用意ハナイカ、此點ニ付テ御聞シタイト思ヒマス

フモノデハナイノデアリマス、一般的ノ改正ハ隨分面倒デアリマスケレドモ、局部的ノ改正、即チ修繕ニ至ッテハ隨時私ハヤッテモ少シモ差支ナイト考ヘマスカラ、只今ノ御質問ノ如キ事柄ハ、其方針ニ依テ是ハ隨時後トカラ改メテ行クト云フコトニ致シタ方ガ宜カラウト思ッテ居リマス

○星島委員 私ハモウ大藏大臣ニ對スル質問ハ此程度デ打切ルコトニ致シマシテ、商工大臣並ニ軍事當局ニ伺ヒタイ——唯最後ニ希望ヲ申上ゲタイノハ、先般堀切君モ伺ハレタヤウデアリマスガ、此改正案ニ依リマシテ來年度ハ千九百萬圓以上ノ增收ガアルト云フ、其計算ノ基礎表ヲ至急ニ御示シガ願ヒタイ、之ヲ希望シテ私ノ質問ヲ打切リマス

○堀切委員 私ハ簡單ナ事デゴザイマスカ、色々他ニ關聯シタ事デゴザイマスカラ、一寸御質問申上ゲマス、只今ノ大藏大臣ノ御答辯ノ中デ爲替關係ガ非常ニ變動ヲ致シテ、爲ニ不利ヲ來スヤウナ場合ニハ、關稅調查委員會ノ會議ヲ經テ訂正致シテモ宜シイト云フ御答辯デゴザイマシタガ、併ナガラ今日ノ此爲替ノ一割ノ下落、是ガ回復致シマシタ曉ニハ、當然是ハ改正セラルルモノト了解致シテ宜シウゴザイマスカ

○濱口國務大臣 今日ハ爲替相場ガ平價ニ屬シテ、一割以上モ低位ニナッテ居リマス、併ナガラ此改正案ヲ作リマシ

テ、稅率ガ上リマシタノハ、先日申上ゲタ通り、大正十一年ノ七月カラ十二年ノ六月迄一ケ年間ノ基準期間ヲ求メテ、其基準期間ノ物價ニ依テ調査ヲ致シ、稅率ヲ定メタノデアリマス、其基準期間ノ爲替相場ハ先日モ申上ゲタ通り、四十八弗半、殆ド平價ト近イ相場ニナッテ居ルノデアリマス、併ナガラ將來爲替相場ノ平價ニ復スルト云フコトガアリマシテモ、其點ノミデハ改正ヲスル必要ガナイデハアルマイカト考ヘテ居リマス

○堀切委員 サウシマスト爲替相場ガ非常ニ變動シタト云フノハ、一割以上ノ變動ト了解シテ宜シウゴザイマスカ

○濱口國務大臣 一割以上ニ上ル場合モアリマセウシ、又非常ニ下落スル場合モアルカモ知レマセヌ、是ハ好マスコトガアリマスケレドモ、想像スレバ左様ニ想像シ得ルノデアリマス

○加藤委員長 山内範造君、此場合大藏大臣ニ對スル御質問ハ——

○山内委員 私ハ農林大臣ニ質問スルコトニナッテ居リマス

○加藤委員長 長田桃藏君

○長田委員 私ハ大藏大臣ニ對スル質問ハ打切リマス

○加藤委員長 サウスルト大藏大臣ニ對スル質問ハ倉元君デアリマスガ、御出席ガアリマセヌカラ是デ終了致シマス

「商工大臣ト農林大臣ノ御出席ハ願ヘマスカ」呼フ者アリ

○加藤委員長 今次官ガ居ラレマスガ如何デス次官ニ御質問ナスッテハ……

○山内委員 是迄同僚諸君ノ質問應答ニ依テ、大略政府ノ意ノ在所ハ了承致シマシタガ、茲ニ私ハ一二意見ヲ述ベテ御伺シタイト思ヒマス、其主ナル點ハ内地產業保護ノ目的トシテ、稅率ノ改正ヲ提出セラレタ、サウシテ一昨日山本氏ヨリ此稅率ノ内外生産價格ヲ比較シテ此程度ノモノヲ提出スレバ、内地產業ノ萎靡不振ニ至ルヤウナコトハナイ、斯ウ云フヤウナコトハ客觀的デナク、具體的ニ御調査ノアッタヤウニ御答ガアッテ居ルノデアリマス、サウシマスト此農產品ニ對シマシテモ、矢張サウ云フヤウナ風ニ内地產業ノ生品費ト、外國カラ輸入スル所ノ品物ト御調査ノ結果、此程度ノ保護ヲ與ヘレバ内地產業ノ萎靡不振ニ陥ルヤウナコトハナイト云フヤウナコトハ、十二分ニ御調べノアッテ居ル所トハ考ヘマスガ、其内地產業ノ生産費ヲ算出セラルルニ方リマシテ、如何様ナ方法ニ依テ御調査ニナッテ居リマスルカ、是ハ或ハ部分的ニ細目ニ互テ御質問申上ゲテモ宜イヤウナモノデゴザイマスガ、大體ノ御方針ガ先日御答ニナッタヤウニ、生産費ヲ御調査ニナルニ方リマシテ、私等ノ見解カラ見マスルト、現ニ今ノ農產品

ノ生産費ハ其生産費ヲ償ハヌト云フコトニナッテ居ルノデアリマス、ソコデ益萎靡不振ニ陥リツツアリマスノニ拘ラズ、其稅率ヲ据置カルト云フコトハ如何ナル方針ニ依リ、如何ナル御調査ノ結果デアアルカ、大體ノ事ガ宜シウゴザイマスカラシテ、先ヅ此點ヲ御伺シタイ

○小山政府委員 只今御尋ノ此度御審議ヲ願ッテ居リマスル各稅關ノ各品目ニ付テ、其生産費ノ基礎ヲ調査シタカドウカト云フ御尋デアリマシタ、是ハ只今大藏大臣カラモ種々ナル部分ノ御尋ニ對シテ、御答ニナリマシタヤウニ、大藏、外務、農林、商工ノ四省ノソレソレ所管間ニ於テ幹事會ヲ組織致シマシテ、其幹事會ニ於テ基礎的調査ヲ持寄ッテ慎重ニ審議ヲ致シマシテ、其得タル成案ヲ會議ニ提出シマシテ、各省此委員ニ於テ更ニ之ニ調査研究ヲ重ネ、而シテ得マシタ成案ハ御手許ヘ參ッテ居ルヤウニ、審議ヲ致シマスル元トシテ、勿論各品目ニ就テ、生産費ノ基礎ハ十分研究致シテ居ルノデアリマス、唯漠ト是ハ此位ニシタラ宜カラウ、アレハアノ位ニシタラ宜カラウト云フ、薄弱ナルモノニ據ッテ出來テ居ルモノデハアリマセヌ、何レ其點ニ付テハ各稅目ニ付テ、——品目ニ付テ御審議ノ際ニ、ソレ——御質疑ノアルコトト思ヒマスカラ、其際何レモ御示シ致シテ御審議ヲ願ウ積リデアリマスカラ、左様御承

知ヲ願ヒマス

○山内委員 只今政務次官ノ御説明ニ依リマス、十分御調査ガアッタト云フコトデアリマスガ、私共ノ考ヘテ居ルノトハ多少違ッテ居ルヤウナ考ヲ持ッテ

查ニ依テ、何年間バカリ經テバ内地ノ工藝品ヲ以テ需要ニ應ズルコトガ出來ルト云フ、詳細ナ御調べガアリマス、之ヲ具體的ニヤッテ居ルカト云フコトヲ御尋シタイ

ヒマシテモ、應テハ只今ノ負擔ヨリモ一層之ニ倍加スル生活上、廉價ナル物ヲ購ヒ得ルト云フ點ニ付テハ、十分考慮ヲ加ヘテ居ルト信ジマス、一例ヲ申上ゲマスレバ、農林省所管ノ方デ、畜産

コトニ相當ルカモ知レマセヌ、而シテ一方ニハ國民ノ生活ニ直接ノ關係アル是等ノ品物ノ工場ニ對シ、補助ヲ與ヘルカモ知レマセヌ、近時畜産方面ノコトニ付キマシテハ、逐年農家ノ副業トシ、或ハ國民ノ食料トシテ相當ニ増加

居リマス、是ハ何レ各項ニ就テ御質問申上ゲルコトニ致シマスガ、茲ニ御伺ヒ致シタイノハ、此關稅ノ改正率ニ依テ少數者ノ産業ヲ保護スル爲ニ、内地ノ需要ガ幼稚ニシテ、需要スル所ノ殆

○小山政府委員 只今ノ御尋ノ中ニハ商工省側ニ屬スルモノモアルカノヤウニ察シマスガ、ドウ云フ品物デアルト云フコトヲ御指定ヲ願ヒマスレバ、御答致シマスガ、只今ノ御質問ヲ想像致

關係ノ方面デ「コンデ、スミル」は、是ノ如キハ先刻星島君ノ御質疑中、農林省ノ方デ何カ大藏省ノ言フガ儘ニナッテ居ッタト云フ風ニモ、聽方ニ依テ感ゼラ

ナルク」ノ如キモ、五十議會ニ大分問題ニナッテ、此度關稅ヲ引上マシテ此事業ヲ保護スル、其保護ノ程度ニ付テハ相當ニ考ヘテ保護ヲ致シテ居ル積リデアリ

ド一割ニモ達シナイヤウナ品物ニ重稅ヲ課シテ、内地産業ヲ保護セラレルト云フコトモ、一ノ政策ト思フガ、併シ此少數ノ生産者ヲ保護スル爲ニ、一般ノ

シマスレバ、現在一部デヤッテ居ル工業ノ品物ヲ保護センガ爲ニ、多數消費者ヲ脅威スル結果ニ陥リハシナイカト云フ御尋ノヤウデアリマスガ、勿論千何

針トシテ編成致シテ居リマス、其間ニアッテ、農林省ハ何故ニ獨立ヲシナケレタバナラナカッタカト云フ、使命ノ點

煉乳ト云フモノハ驅逐出來ル確信ヲ有ッテ居リマス、成程之ニ依ッテ其方面ノ一部需要者、消費者ニ多少ノ負擔ガ増

ケレバナラヌコトニナラウト思ヒマス、今日内地デ出來テ居ル生産品ハ外國品ニ比較シテ到底及バナイノデアリ

マシテモ、生産ノ保護、生活ノ安定、此ニツガ基礎條件ニナッテ居ルヤウナ譯デアリマシテ、生産ノ方面カラ見ルト

中デ、努力シテ御協賛ヲ得ル數字ヲ舉ゲテ居リマス、何レモ是ハ現下農林方面、殊ニ海外發展、是等ノ基礎調査ヲシ

於テ我國ノ畜産業ノ發達カラ外國品ニ何等劣ル所ハナイ、寧ロ優ッテ居リマス、唯遺憾ナガラ國民ノ舶來ヲ崇拜

テ、價格ガ騰リ工場能率ガソコマデニ件ウテ行クト云フマデニハ、マダ前途遼遠ノヤウニ思ハル品物モ見受ケル

ウニ見ヘルモノガアリマシテモ、餘リ遠キ將來デナク、數年若クハ十數年ヲ期スレバ必バ自給自足ノ出來ルモノデア

今申マシタ畜産方面ノコトニ付テモ、成程「コンデンスミル」煉乳、是等ノモノハ海外ノ品物カラ見マシテ、日本

ニ付テハ當業者カラ聲明書モ受取ッテ居リマス、或ハ御質問ニ該當シナカッタカモ知レマセヌケレドモ、是等ハ御質

僅力二三ノ工業會社保護ノ爲ニ、國民全般ニ重稅ヲ課スル結果ニナリハシナイカト思ヒマスガ、是等ハ能ク需給ノ

アルカラ、此際生産額カラ見レバ、外國カラ參ル品物ト相對シテ、ソレ程マデノ保護ニ値セザルモノモアルト、認メ

得ラレルモノガナイトハ限ラヌケレドモ、只今申上ゲマシタ通り、保護獎勵ノ途ヲ執リマスレバ、此際生産者ニ於テ

該當スル一部ノ工場ヲ保護スルヤウナ

護ノ目的ダケニ止ッテ居リマスガ、大抵其邊ノ見當ハ十二分ニ御調査ガアッタコトト思ヒマスガ、果シテ斯様ナ御調

多少負擔ヲ増シ、ソレニ依テ犧牲ヲ拂

テ申上ゲタ次第デアリマス

○山内委員 只今農林次官ノ熱心ナル御答辯ニ依テ私ハ大變満足ヲ致シマシタ、農村振興ト云フコトニ付テ多大ナ

ル御考慮ガアツテ、非常ナル御熱心ヲ以テ臨マレタト云フコトハ大ニ感謝致シマス、而シテ其御答辯ノ中ニ、私ガ問ヒマシタヤウニ、澤山ナ品物ノ中ニハ需要者ヲ不利益ナ立場ニ當分置カネバナラヌヤウナモノガアリハシナイカト云フコトニ付テハ、御指摘ニナツテ居ラヌヤウデアリマス、是ハ何レ各條ニ付テ質問スル時分ニ廻シマス、次ニ御尋シタイノハ、農產品ノ保護ト農村振興トノ關係ヲ御尋シタイ、先ツ國論ニナツテ居ル所ノ農村振興ハ此豫算ニモ農林省ガ多大ノ御考慮ヲ加ヘラレテ、農村振興ノ政策ヲ講ゼラレテ居ルコトハ聞エテ居リマス、併ナガラ私ハ農村振興ト云フモノノ、根本義ハ何處ヲドウスルカト申シマス、經濟的ノ安定ガ主ナルモノデアルト思フ、農村デ作ル多數ノ農產品ガ生産費ト償ハナイト云ヘバ是程經濟的ノ不安定ナルモノハナイ、然ラバ此點ニ對シテハ各議會ニ於テ建議案ヲ出シ、色々ナ方面カラ要求ヲ申上ゲテ居ル、農村振興ヲ説クニ當ッテ詰リ當業者ノ生産費ノ償ハナイヤウナ政策ヲ執ラレテ、農村振興ガ出來ルモノデアルカドウカ、斯ウ云フ考ヲ私ハ有ッテ居ル、是ハ統計ノ示ス所デアリマスガ、先ヅ小麥ニ付テ申上ゲマスニ、大正三年ノ我國ノ田畑四十七萬八千六百七十七町歩ノ其收穫高四百四十八萬石デアリマス、ソレカラ越ヘテ大正六年ニハ五十六萬八千四百町歩ノ耕作段別デハ

百七十八萬石ヲ生産致シテ居ル、七年モ略同様デ六百四十三萬石、八年モ五十四萬八千五百町歩デ六百三十六萬石デアアル、是ハ如何ナル結果デ斯様ニナツタカト申シマス、歐洲ノ戰爭デ外國ノ輸入品ガナカッタ結果デアリマセウガ、大正三年ニハ石當リ十一圓四十五錢ノガ大正七八年ノ頃ハ二十三圓四十四五錢ノ價ヲ保ッテ居ル、之ニ依テ生産費ガ償フノデ斯ノ如ク殖エテ居ル、所ガ歐洲戰爭ノ終局ト共ニ海外ノ小麥ガ輸入セラルルコトニナリマシテ、漸次下落致シマシテ、大正十三年ニハ十八圓八十錢、斯ウ云フコトニナツテ居ルソレガ爲ニ大正八年後ハ漸次耕作段別ガ減リマシテ、サウシテ生産高ハ五百二十六萬石デアリマス、斯ノ如ク減ッテ來タ、是ハ何ノ現象デアアルカト申シマス、勞銀其他ノ關係カラ此小麥ノ生産費ガ償ハナイカラ耕作段別ガ減ル、且ツ段々農家ノ經濟ガ不經濟ニナツテ來ル、斯ウ云フコトデ、丁度前議會ニ於テ各派一致シテ小麥ノ關稅ノ引上ゲノコトヲ請願シテ居ルコトハ、御記憶ニ新シイ所デアアラウト思フ、今ノ關稅率デハ到底外國品ト競争スルコトハ出來ヌト云フノデ、漸次斯ノ如ク減リツツアルノデアアル、ソレヲ其儘ニシテ推移シテ置イテ、爲替相場等ガ恢復スルト云フコトナレバ、一層不利ヲ來スコトニナリハシナイカ、之ヲ以テ内地産業ノ自給自足ヲ圖ラレルカト云フコトヲ私

ハ疑フノデアリマス、此邊ニ對シマシテ農林省ノ所見ハドウデアアルカト云フコトヲ伺ヒタイ、而シテ工業ニ屬スル所ノ産業等カラ比較致シマスルト、農產品ニ對スル保護ハ果シテ十二分ニ御考慮ニナツテ居ルノデアアルカト云フコトヲ疑フノデアリマス、屢農林省アタリカラモ御示ニナツテ居ル通りニ、此小麥ノ耕作ハ今少シク種子ヲ選ビ、且ツ耕作ノ改良ヲ加ヘレバ今日ノ生産額ニ裕ニ三割ヲ増スコトガ出スル、斯ウ云フヤウナコトヲ御示シナツテ居ル、サウシマスルト、今私等ガ調ベマスルト、小麥ノ一年ノ用途ハ一斗三升ト云フコトニナル、サウシテ殆ド九百萬石バカリ要ル、此自給自足ニ達スルノニハ今少シク稅率ヲ上ゲテ、保護獎勵セラルルナラバ裕ニ出來ル、先ヅ大正六年ノ一番澤山出來マシタノハ六百七十八萬石、之ニ對シマシテ二割ノ增收ヲ圖ルト致シマシテモ、八百二十五萬石アル、三割ノ增收ヲ致シマスルト、八百九十七萬石取ル、斯ウ云フ計算ガ出テ來ル、之ニマダ耕作段別ハ増ス見込ガ十二分ニ在リマス、全ク生産費ヲ償ハヌト云フコトカラ大正八年以來十三年ニ至ルマデ、漸次此耕作反別ノ減リツツアル狀況モ顧ミズ、今ノ稅率ヲ据置カレルト云フコトニナリマシテ、果シテ農村振興ガ出來ルカ、全ク生産費ヲ償ハヌト云フコトヲ證明シテ餘リアルコトハ統計ノ上ニ於テ明カデアアル、之ニ對シマシテ今ノ保護率

ニ依テ農產品ハ自給自足ガ出來ルト、斯ウ云フコトニ御安心ノアツテ居ルモノデゴザイマスルカ、一應御所見ヲ伺ヒタイノデアリマス
○小山政府委員 只今御質疑ノ一例トシテ麥ヲ御舉ゲニナリマシタガ、先ヅ第一ニ農產物ノ將來ノ對策ニ付テ生産品ニ伴ハヌノガ農村疲弊ノ原因デアアル、之ヲ更ニ保護獎勵ヲスルコトガ農村振興ノ所以デアアラウト云フ御尋デアアル、洵ニ一面カラ見マスレバ御尤至極ノ事デアリマス、併ナガラ先刻大藏大臣カラ御答辯ニナリマシタ中ニモアリマスルヤウニ、我國ノ現狀ト致シマシテ、人口ノ増加ノ將來、食糧問題ノ解決、是等カラ見マシテ單ニ關稅ノ問題ノミヲ以テ此食糧問題ヲ解決スルト云フコトハ、餘程ハ研究ヲ致サナケレバナラヌ事デアアラウト思ヒマスルシ、又農產物ヲ單ニ關稅ノ保護ダケヲ以テ此解決ヲ圖ラウト致シマスルコトハ、是ハ餘程社會ノ重大問題デアルト私ハ思フ、一面ニ於テ消費者ノ方ノ側ノコトモ篤ト考慮シマセスケレバ、由々敷社會問題ニナルト私ハ思ヒマス、故ニ此度ノ關稅改正ハ一面ニ於テ生産ノ保護、一面ニ於テ生活ノ安定、先日來農林大臣ガ生産ト消費トノ其調和ヲ取ッテ、而シテ適當ナリト考ヘル所ニ依テ此案ヲ定メタモノデアルト、繰返シ(申述ベマシタノハ其所ニ在ルト思ヒマス、故ニ此關稅ヲ以テ其生産ヲ將來助長スル

ノ方針ノミニ基礎ヲ置イテ參ルト云フコトハ、餘程考ヘナケレバナラヌコトト思ヒマスガ、同時ニ只今ノ麥ノコトデアリマス、小麥ノコトヲ引合ニ出サレマシタガ、我國ノ麥ノ大體ノ狀態ヲ見テスルト大麥、裸麥、ト云フモノニ付テハ御説明ヲ申上グルマデモナク、是ハ段々生産消費ノ方ニ於テモ、山内君ハ數字モ御持チデ御覽ノ通りデアリマス、此小麥ノ事ハ是ハ農産物ノ中デモ大體其品物ソレ自體ガ世界共通ノ食料品デアリマシテ、我日本ダケノモノデハアリマセヌ、故ニ只今表ヲ以テ御示ニナリマシタヤウニ、其年々ニ付テ價格ノ或ハ騰貴シ、或ハ低落致シテ居ルモノアルノハ、是ハ已ムヲ得ヌコトデアラウト思ヒマス、大正元年頃ハ十六圓位デアリマシタ、然ルニ大正七八年頃ニハ二十二圓ニモナリマシタ、昨今ハ十八圓トカ云フ風ニ——モウ少シ上ッテ居ルカモ知レマセヌ、時ニハ更ニ低落シテ十四五圓ノコトモアリマシタラウ、或ハ二十二、三圓ノコトモアツタ、何ガ故ニサウデアアルカト云ヘバ、是ガ世界ノ共通ノ食料品デアアルカラダト思ヒマス、只今ノ御説明中ニモアリマシタヤウニ、大正八年頃小麥ノ價格ノ騰貴致シマシタノハ、世界戰争ノ關係モアリマセウ、而シテ戰時中ニ於ケル歐羅巴戰争ニ參加致シマシタ列國ノ農作物ノ關係ガ戰後ニマデ及ビマシテ、戰後之ニ對スル對策等カラ致シマシテ玆

ニ價格ノ一大變動ガ參ッタト云フコトハ、山内君ノ御手許ノ表デ御調べノ通りデアラウト思ヒマス、併シ其根本ヲ申上ゲマスレバ、日本ノ米ト云フヤウナモノト、全ク性質ヲ異ニ致シマシテ、世界共通ノ食料品デアルト云フノガ、所謂世界ノ大勢ニ動カサレテ其價格ニ變動ノアルト云フコトハ已ムヲ得ヌコトデアリマス、而シテ小麥ノ生産及輸入ノ狀況ヲ見マスレバ、先ヅ約半々ト見テ宜カラウト思ヒマス、併ナガラ近時此小麥ヲ論ジマスル時ニ、必ズ是ト相伴ッテ研究ヲ致サナケレバナラヌノハ製粉業デアリマス、此製粉業ハ近時大分進歩發達致シテ參リマシテ、我國ノ製粉業ハ洵ニ喜ブベキ發達ノ狀況ニ在リマシテ、同時ニ是ハ輸出ガ漸次殖エテ參ッテ居リマス、而モ此製粉業ノ發達ト、内地小麥ノ作付トノ關係カラ見マシテモ、モウ一段ノ大局カラ考ヘル必要ガアルト思ヒマス、我國ノ此小麥ニ關聯致シマシテ、「ビール」醸造ノ問題等ニ付キマシテモ、「ビール」醸造ハ近時段々ト御承知ノ如ク其醸造石數ガ増シテ參リマシテ、是ガ原料ハ曾テハ外國ニ仰イデ居ッタデアリマスケレドモ、内地ニ於ケル品種ノ改良、而シテ「ビール」醸造會社ト其作付ヲ致シマスル所ノ農家トノ協定ト相俟ッテ、産業ノ發展ニ努力スルト云フコトノ結果ハ、「ビール」會社ガ此原料ノ麥ノ作付段別ト、其所要石數ニ於テ自給ノ關係等ヲ

シツクリ相談シテ參ルヤウニナリマシタカラ、今日デハ外國カラ其原料ヲ仰グト云フヤウナコトハアリマセヌ、内地ノ麥デ供給致シテ、内地ノ「ビール」醸造ニ付テ何等憂ナカラシムルト云フコトニマデ進ンデ參ッテ居ルト云フコトハ、私共農家ノ爲ニモ喜ブベキコトデアルト思ヒマス、是ト同時ニ麥ニ付キマシテモ其粒ノ品種ノ改良、栽培ノ方法等ニ付キマシテモ、尙ホ一段ノ努力ヲ要スル點ガアルト思ヒマス、是ガ爲ニ十五年度豫算ニ於テ、先刻モ申上ゲマシタヤウニ、何レ豫算分科會等デ細カク申上ゲル積リデアリマスルガ、此小麥ノ栽培ニ關シマシテハ尙ホ一層力ヲ入レテ此事ニ努力スル積リデ居リマス、更ニ來年度豫算ニ於テキマシテハ數歩ヲ進メマシテ、麥ノ品種改良、之ニモ相當ナル豫算ヲ要求致シタイト計畫致シテ居リマス、何故ナラバ製粉業ヲ致シマスルニモ、外國麥ノ粒ト、日本内地ニ出來マスル麥ノ粒トノ關係ハ、其粉ノ歩合ガ根本ニナルデアリマシテ、遺憾ナガラ我國ノ現在ノ小麥デハ外國ノ小麥ニ比シテ其歩止リガ劣ッテ居リマスノデ、之ヲ更ニ研究シテ、其歩止リヲ外國麥ヨリモ一段ニ強クスルト云フコトニナリマスレバ、私共ハ關稅ノ保護ト云フコトノミニ依ラズシテ、我國ノ製粉業者ガ内地ノ麥ヲ使フヤウニナリマスレバ、玆ニ初メテ「ビール」會社ト、其原料タル麥ノ自給自足モ出來テ行クト云フ風

ニ、國產獎勵ノ意味カラ見テモ、其目的ニ合致シテ來ルダラウト斯様ニ考ヘマシテ、唯關稅ノ保護ノミヲ以テ我國ノ農産物ノ將來ノコトヲ議スルト云フコトハ、是ハ少シク一方ニ偏シタルコトデハナカラウカ、モット大局カラ見マシテ、消費者側ノコトモ考ヘ、生産者ノ側ノコトモ考ヘテ、兩者相俟テ玆ニ其調和ヲ爲シ、而シテ更ニ進ンデハ只今申上ゲルヤウナ施設ヲ爲スコトガ、嚮テ農村ヲ振興スル所以デアルト私共ハ考ヘテ居ル譯デアリマス、尙ホ此小麥ノ事ニ付テハ、何レ品目御調査ノ場合ニソレゾレ基礎ノ材料モ數字モ舉ゲテ御説明ヲ申上ゲマスガ、今ハ一般御尋ノ場合デアリマスカラ、概念ダケヲ申上ゲテ置キマス

○加藤委員長 此程度デ休ミマシテ、午後一時カラ繼續致シタイト思ヒマス

○山内委員 ソレデハ私ノ質問ハモウ少シ殘ッテ居リマスカラ、保留致シテ置キマス

○加藤委員長 ソレハ差支アリマセヌ、ソレデハ休ミマス

午後零時四分休憩

午後一時二十八分開議

○加藤委員長 速記ガ先刻居リマセヌデシタカラ更ニ宣告致シマス、是ヨリ午前ニ引續イテ關稅定率法中改正委員會ヲ開キマス、山内君ガ午前カラ繼續サレテアル譯デアリマスカラ、御質問

ヲ願ヒマス

○山内委員 午前ノ質問ニ於テ大要了解致シマシタガ、尙ホ少シ農林省ニ御尋ヲ致シタイコトガアリマス、近時全國ニ彌蔓セル所ノ小作爭議ハ、御承知ノ通り殆ド青森、沖繩ヲ除ク外ハ全國ニ跨ツテ小作爭議ガ起リテ居ル、是等ノ現象ヲ如何様ニ見テ居ラルルカト云フノデアリマス、是ハ私等ハ歐洲戰爭以來農村ガ經濟的自覺ノ結果斯ノ如キコトニナツテ居ルト斯ウ思フ、ソコデ小作團體ニ間ヒマスルト、地主側ニ於テ税金ガ高イカラ從來ノ小作料ヲ負ケルコトガ出來ヌ、年々税金ガ増スカラト斯ウ言ウテ居ルガ、ソレハ其方面ニ向ッテアタ方ガ土地ヲ持ツダケノコトガ堪ヘラレヌナラバ其方ノ方デ御勝手ニナサイ、吾々ハ外ニ訴ヘ所ガナイカラ、ドウシテモケフノ日ノ勞働賃金其他ノ方面カラ考ヘマス、從來ノ小作料デハ吾々ノ生計ヲ維持スルコトガ出來ナイ、斯ウ云フテ迫ッテ居ル、是ハ所謂細農ニ至ルマデ經濟的自覺ト私ハ觀察スル、農村ガ一般國民ヨリモ何トナク保護ガ薄イ、農業ノ薄利ナルコトハ既ニ周知ノ事實デアアル、此意味ニ於テ農產品ノ價格ノ維持ト云フコトガ所謂農村振興ノ原因ニナルト吾々ハ思ッテ居ル、一般ニ近來農村振興ト云フコトハ都鄙共ニ政治家ト云ハズ、學者ト云ハズ、殆ド定論デアアル、ソレニ向ッテ此度ノ關稅定率ノ改正案ハ私等ハ先刻ヨリ小山次官カラ

懇々御説明モアリマシタケレドモ、是レ以上ノコトハ議論ニナリマスカラ後ニ譲リマスガ、要スルニ私ハ少シク農林省アタリデハ農村ノ實情ガ能ク分ラナイノデハナイカ、假ニ先刻ノ御答ニモアリマス通りニ、種麥ノ獎勵ヲスルトカ、或ハ肥料ノ購買ヲ講ジテヤルト云フヤウナコトヲ仰シヤル、農村ノ實情ト云フモノハサウ云フモノデナイ、本年菜種ノ値段ガ宜カッタナラバ、翌年ハ菜種ノ作付段別ガ増ス、小麥ノ値段ガ宜ケレバ小麥ノ作付段別ガ増ス、蔬菜ノ値段ガ宜カッタナラバ必ズ蔬菜ニ全カヲ注グ、而シテ生産過剩デ損ヲスルヤウニナル、所謂餘リ生産ト云フコトノミニ考慮セラレマシテ、其價格ノ維持ト云フコトヲ閑却セラレルト云フコトニナリマス、ドウシテモ自給自足、所謂農村産業ノ振興ヲ促スコトガ出來ナイト私ハ確信スルモノデアリマス、尙ホ御尋シタイノハ、先日モ長田君カラ申シマシヤウニ大藏省ニ對シテ願ガアツタ、斯ウ云フヤウナコトガ實際デアリマス、私等ハ此農村問題ニ對シマシテハ多年研究ヲ致シテ居リマスガ、是マデ農商務省時代ニハ工業市街地ノコト、總テノコトヲ持ッテ行キマス、何時モ農商務省ノ省内デ議ガ纏マラナイ、農務局、農政課アタリデハ十分努力シテ下ステモ、省内ノ議ガ纏マラナイ爲ニ遂ニ閣議ニ持出スマデニ運バヌコトガ度ミアルノデアリマス、ソコデ

ハ農林省ノ獨立ト云フコトニ全力ヲ注イデ實現シタ、然ルニ本年初メテ吾々ノ多年ノ希望ナル所ノ農林省ガ出來マシテ、サウシテ此關稅改正ニ打當ツタ、十二分ノ御考慮ニナツタト仰シヤルケレドモ、私ハ甚ダ不用意デアアル、農林省ハ今少シ御努力アリサウナモノダト云フ感ジヲ起ス、之ヲ以テ農村ノ振興ハ出來ルモノナリト當局ハ見テ、是デ十分ナリト云フ御觀察ナラバソレハ意見ノ相違デアリマス、私ハ甚ダ不十分ナリト考ヘテ居リマス、尙ホ此處デ一ツ御伺致シタイコトハ、米麥ノ輸入關稅モ矢張以前ノ通り据置ニナツテ居リマス、是ハ米穀法ニ依テ量ノ調節及價ノ調節ハ御考慮ニナル、斯ウ云フコトニナツテ居リマス、併ナガラ此關稅ニ致シマシテモ近來ハミートン米等ガ入ッテ來マシテ、殆ド内地米ハ買ハヌト云フヤウニナツテ居ル、之ヲ此儘ニシテ置イテ、サウシテ朝鮮及北海道等ニ一大計畫ヲ立テマシテ、所謂米ノ自給自足ヲ圖ル、斯ウ云フコトニ御努力ノアルノハ誠ニ結構ナコトデアリマスガ、彼ノ朝鮮ノ勞働賃銀、其他ノ安イ所ノ、生活程度ノ低イ所ノ朝鮮米ガ多數此方ニ入ルト云フコトニナリマス、一層内地ノ農業者ハ脅威ヲ受ケルコトハ火ヲ賭ルヨリモ明カデアアル、併ナガラ是ハ已ムヲ得ヌト致シマシテモ、此關稅ト云フモノノ此儘据置イタナラバ、彼ノ生活程度ノ低イ朝鮮ノ米ガ日本内地ニ續々入込

ンデ來テ、朝鮮ニハ外米ガ入込ム、斯ウ云フコトニナツテ一層内地ノ米價ノ脅威ヲ受ケルコト云フコトニナリハセヌカト云フ杞憂ヲ有ッテ居リマス、是ハ當局ニ於テ量ノ調節、價ノ調節ヲ都合好ク御按排爲スツタナラバ、農民ニ非常ナル脅威ヲ與ヘヌコトニナルカモ知レマセヌガ、寧ロ此點ニ於テ御考慮下サルナラバ、進ンデ政府ハ外米ダケナリトモ、官營ニスルト云フ御意思ハナイカ、此點ヲ御伺シタイ

○小山政府委員 第一段ノ御尋ハ、近時殆ド全國的ニ互ッテ來タ小作爭議ノ現情カラ見テ、ドウ考ヘルカト云フ御尋ノヤウデアリマス、小作爭議ノコトハ誠ニ國家中堅ノ健全ナル農村ニ對シマシテ、御同様痛心ノ至リデアリマス、小作爭議ノ經過ヲ能ク研究致シテ見マスト、久シキニ互ッテ居リマス、其最初ノ爭議ハ何レモ農作物ノ凶作、減收等ノ關係カラ、其減額ヲ望ムト云フヤウナコトノ爭ヒガ、其都合デ見レバ大多數デアツタヤウデアリマス、近時ハ更ニ一變シテ、農村ニ於ケル思想問題等ガ之ニ伴ッテ參リマスルヤウナ傾向ガアリマス、現ニ各地ニ於ケル農民聯盟トデモ申シマス、此種ノ運動ノ内ニハ、確ニ思想問題モ伴ッテ居ルヤウナ譯デアリマス、此事ハ御互ニ心配致シテ居リマスル思想ノ惡化ト云フヤウナコトノ點カラ見マシテモ、深ク留意ヲ致サナケレバナラヌト考ヘテ居リマス、

唯此場合ニ御同意ヲ深ク此點ニ願ハナケレバナラスト思ヒマスノハ、此勞働爭議及地主小作、爭議等ノ場合ニ、何等直接ニ其問題ニ利害關係ノナキ、所謂「ブローカー」ノ種類ニ屬シマスルモノガ此間ニ乘ジテ、何等カ其問題ニ介入スルト云フヤウナコトアリマスコトヲ、ドウシテモ避ケナケレバナラスト思ヒマス、小作條件ノ維持改善ト云フコトデ、其直接利害ヲ有テ居リマス者ガ相謀リ、相俱ニ其條件維持ノ改善ヲスルト云フコトデアリマスレバ、或ハ其問題ニ付テ合理的デ、其解決ハ圓滿ニモ行ハレヤウト思ヒマスルナレドモ、今ノ何等ノ關係ナキ者ガ其間ニ介入シテ、以テ何等カ爲ニスルト云フヤウナ事ノアルコトハ、多クノ事實ノ中ニ認メマス、是ハ洵ニ遺憾ノコトデアリマス、而シテ曩ニ議會ノ協賛ヲ得マシテ施行致シマシタ小作調停及小作官ノ活動ト云フコトニ對シマシテハ、相當ニ見ルベキ實績ヲ擧ゲテ居リマス、詳シイコトガ御入用デアリマスレバ、又別ノ機會ニ申上ゲテモ宜シウゴザイマスガ、昨年第一次ノ小作官會議ヲ農林省ニ召集致シマシテ、各小作官並ニ小作官補ノ全國ニ配置致シテ居リマスル者ノ實際ノ小作爭議ノ事情モ審カニ聽取リマシタ、是ハ各小作官、小作官補アタリガ相互ノ間ニ立ッテ熱心ニ自己ノ職務ヲ完フシヤウト努メテ居リマスル者ノ中ニ、或ハ三晩、四晩位徹夜ヲ

ヤッテ居ル者モアリマス、實際事情ヲ聽イテ見マスルト、洵ニ涙ノ出ルヤウナ話モ澤山アリマス、如何ニモ眞面目ニ其業務ノ實績ヲ擧ゲヤウト云フコトニ對シテハ、私共其職務ニ對シテ忠實ナルコトニ深く其勞ヲ多シナケレバナラヌト云フ點ノアルコトハ事實デアリマス、而シテ第一次會議ノ其經過ニ見マシテ、又實際ノ成績ニ見マスルト、相當ノ政果ヲ擧ゲテ居リマス、仍テ更ニ本年度ニ於キマシテハ、モウ一段此ノ方ニ力ヲ入レ、尙ホ其配置等モ十分トハ參リマセヌケレドモ、他省トノ關係モアリマスシ、殊ニ豫算ノ關係モアリマスガ、小作官ノ増員ハ其區域モ擴メテ居ルヤウナ譯デアリマス、此事ニ付テハ只今ノ制度ヲ施行スル前、施行シタ後ト、今日ノ狀態カラ見レバ、相當ノ成績ヲ擧ゲテ居ルト思ヒマス、唯此場合私ハ小作ノ方ノ條件維持改善ノ方ヲ絶叫致シテ居リマスルト、又其反對ノ立場ニ居リマス地主階級、此地主階級モ近頃地主會ト云フヤウナモノヲ段々作ルヤウニナリマシテ、是モ年々數ガ殖エテ參ッテ居リマス、ガ、此地主階級ノ人々モデス、深ク時代ノ流れ、其要求、如何ナル方ニ政治向ガナッテ行クモノデアルカト云フコトヲ篤ト御研究ノ上デ、階級爭鬭ヲ之ニ導クト云フヤウナ態度ヲ御執リニナラヌヤウニ願ヒタシ、總テ地主ト小作間ハ親子ノ關係、此間ニ一アッテ二ナキモノデアル、二者俱

ニ一デナケレバナラヌモノデアルト云フコトガ、根本ノ解決問題デアラウト思ヒマス、要スルニ小作官ノ活動ハ、此間ノ事情ヲ審カニシ、依テ以テ當局トシテ今後施設スベキコトニ相當ノ資料ヲ得テ居ルト思ヒマスガ、是ハ何レモ亦他ノ機會ニ詳シク御説明ヲ致ス場合モアラウト思ヒマス、大體ダケヲ申上ゲテ置キマス、ソレカラ次ハ米ノコトデアリマス、是ハ米穀法ノ立法ニ際シテ種々御議論ガアリマシタ、量ノ調節ヲ主トシテ施行セラレタノデアリマスガ、其後市價ノ方面ニ於テノ調節ヲ必要トスルトシテ、長ク此問題ハ論議セラレマシタガ、五十議會ニ於テ市價調節ノ問題ヲ解決セラレ、米穀法運用ニ於テハ量ト價、兩々相俟ッテ此米穀法ノ妙味ヲ發揮セシメヤウト云フ御趣旨デアッタノデアリマス、洵ニ鳥ノ兩翼ノ如ク是ニ於テ米穀法ノ運用ヲ完キヲ得ルト考ヘマスガ、當局ニ於キマシテハ此御趣旨ノアル所ヲ深ク體シマシテ、相當ニ此方面ニハ努力ヲ致シ、既ニ大正十四年度ニ於キマスル所ノ米穀ノ對策、是ノ運用ニ付テハ當局トシテハ最善ヲ盡シタト考ヘマス、既ニ山内君ニ於テモ御承知デアリマセウガ、昨年ノ豐作ニ續イテ米價ノ問題等ニモ深刻考慮致シマシテ、明ケマスル舊節季ヲ迎フルニ付テ、中農小農階級ノ事情モ深ク察シ、新米ノ買上等ニ付キマシテハ十二月末日ヲ以テ其買上ヲ發

表シ、新年早々此手續ヲ終リマシタヤウナ譯デ、從來ノ當局ガ米穀ノ買上ニ付キマシテハ、多クハ春若クハ舊節季ニ間ニ合ハヌ又中小農階級ガ最も苦痛ヲ訴ヘルト云フ時分デ、其施設トシテ遺憾ノ點モアッタト考ヘマスガ、吾々甚ダ其方面ニハ不馴デアリマスルケレドモ、農村ノ實情、過去ニ於ケル各方面ノ御要求、又消費者ノ關係等モ考慮致シマシテ、而シテ年末カラ年始ニ掛ケテ、此米穀法ノ運用ニ基イテ其精神ヲ全ウシタイト思ッテアノ買上ヲモ致シタ譯デ、此點ニ付テハ相當ノ考慮努力ヲ致シテ居ル積リデアリマス、尙ホ朝鮮、臺灣、北海道等ニ付テノ産米ノ計畫ノ御話ガアリマシタ、朝鮮産米計畫ノ事ニ付キマシテハ、曩ニ本會ニ於テ農林大臣ヨリ御尋ノアリマシタ場合ニ御答申上ゲテ居リマス通り、朝鮮産米計畫ハ大正九年以來此計畫ヲ立テテ居ッタノデアリマスルケレドモ、其所期ノ目的ヲ舉グルノ域ニマダ達シテ居リマセヌ、當初計畫致シマシタ段階當リカラ見マスレバ、極メテ其成績ハ豫期ノ如クナッテ居ラスト思ヒマス、併シ此度朝鮮産米計畫ハ今後年々重ネテ其所期ノ目的ニ達セシメタイト云フノデ、御承知ノ如ク相當ナ豫算ヲ要求シ、朝鮮總督府ノ施設トシテ御協賛ヲ仰イデ居ルヤウナ譯デ、此詳シイコトハ御尋ガアリマスレバ當局カラ御答スルデアリマセウガ、要スルニ八百萬石ヲ目標トシ

テ此計畫ヲ進メヤウ、斯ウ云フコトニ
ナッテ居ルヤウデアリマス、臺灣ニ於テ
ハ是ハ近時内地種等ヲ段々植付ケルヤ
ウニナリマシテ、此方面カラモ内地米
ガ入ッテ來ルヤウニナッテ居リマス、北
海道ノ方ノコトハ是ハ拓殖計畫デ初メ
北海道百萬石計畫ヲ、先日本會デモ其
御話ガアッタヤウデアリマスガ、今日デ
ハ其豫期ノ目的以上ニ其成績ヲ舉ゲ
テ、總テ二百萬石實收ト云フコトモ遠
キ將來デモアルマイ、洵ニ食糧政策上
意ヲ強ウスル次第デアリマスガ、倭斯
様ニ朝鮮、臺灣、北海道ノ產米計畫ガ段
段其實績ヲ舉ゲテ來ルニ至レバ、我ガ
内地ノ米穀等ニ付テノ壓迫ガ來ハシナ
イカト云フ御懸念モアルヤウデアリマ
スガ、農林省ニ於キマシテハ米穀需給
關係及ビ之ヲ補ヒマスル所ノ各食糧品
關係等ノ事ニ付テ、ソレハ係官ヲシ
テ調査ヲセシメテ居リマス、十年將來
如何、二十年ノ將來如何、或ハ三十年ノ
將來如何、人口増加ト米穀トノ關係、食
糧品トノ關係如何ト云フコトモ調査致
シテ居ル譯デアリマスガ、先日農林大
臣ガ此席カラ御答申上ゲマシタ中ニモ
アッタヤウデアリマスガ、今後此產米増
殖計畫、食糧需給關係等ノ事カラ考慮
致シマシテモ、今山内君ノ御心配ナリ
マスヤウニ、其產米計畫ニ依テ内地ノ
米穀ガ非常ナ脅威壓迫ヲ受ケテ、而シ
テ農村ガ之ガ爲ニ苦痛ヲ感ズルト云フ
ヤウナコトガ有リ得レバ結構デアルト

私共思ヒマスガ、決シテ左様參リマセ
ヌ、人口ノ増加ト作付段別ト、開墾ノ助
成ト、用排水幹線ノ問題、是等ノ問題ト
ヲ考ヘテ見マシテモ、尙ホ吾々ハ努力
シテ見ナケレバナラナイト思ヒマス、而
シテ終リノ御質問ハ外國米ノ關稅ニ對
シテ何トカモウ少シ考慮スル點ガナイ
カト云フヤウデアリマス、外國米ノコ
トハ是ハ何分ニモ米ハ天候ニ依テ其豐
凶ガ伴フヤウナコトデアリマシテ、幸
ニ十四年度ノ如クアノヤウナ作柄ヲ毎
年續ケテ行クト致シマスレバ、洵ニ國
家ノ爲ニ大慶ニ存ズル譯デアリマス
レドモ、左様ニ參リマセヌ、而シテ米ハ
既ニ屢繰返シマシタヤウニ國民ノドウ
シテモ無ナケレバナラヌモノデア
ル、他ノ代リヲ許シマセヌ、又是ハ國民ノ
一ツノ嗜好ガアリマシテ、朝鮮米ハ山
内君ハ御承知デアリマセウガ、大阪ヲ
中心トシテ關西方面ハ朝鮮米ヲ嗜好致
スノデアリマス、東京ヘ持ッテ來テ東京
ノ人ガ食フカト云フト、東京ノ人ハ餘
リ朝鮮米ヲ嗜好致シマセヌ、是ハ東北
秋田等ノ米ヲ本位トシテ、而シテ多ク
ハ東北米ヲ東京ノ人ハ食スル、嗜好ス
ルヤウナ譯デ、各嗜好ガアリマス、仍テ
朝鮮米ガドンノ來ルカラ内地ヘ全部
廣ガルト云フ譯ニモ參ルマイト思ヒマ
ス、多少ノ嗜好モアル譯デアリマス
カ——ソコデ外國米ハ是ハ内地ノ豐凶
ニ依テ、勿論時ニ依テハ入レナケレバ
ナラヌ場合モアリマスケレドモ、大體

百萬石位ニ近イモノハ關稅ノ如何ニハ
關シマセヌ、食糧品トシテノ以外ニ或
ハ雜菓子ノ原料トカ、其他ニ使フ爲ニ
所謂碎ケ米ト稱スルヤウナモノハ、關
稅ガドウデアッテモ關稅ノ如何ニ關セ
ズ當然這入リマス、是ハ如何ニヤッテ見
タ所ガ關稅ノ保護デ百萬石位ノモノハ
防グ譯ニ行カナイ、而シテ屢申シマス
ガ、米穀法運用ノ方カラ關稅ノ問題ハ
時ニ免除シ、時ニ課稅スルト云フヤウ
ナ事ハ起ルノデアリマス、是ハ午前申
上ゲマシタ意味ト全クアベコベノ食糧
政策カラ來マスノデ——世界競爭ノ食
糧戰デアリマセヌ、或ル範圍ニ定メラ
レタル、或ル特殊ノ國民ノ副食物デア
リマスカラ、此點ニ付テハ相當ニ研究
ハ致シマシタケレドモ、提出シテ御審
議ヲ願ッテ居リマスモノヲ以テ適當ナ
ルモノト考ヘマス、他ニ非常手段ヲ用
キ、國家ノ權力ヲ以テヤルト云フ場合
ガアリマスレバ、米穀法ノ運用ニ俟ッ
ベキモノト考ヘテ居リマス

○山内委員 只今御答辯ノ御要旨ハ米
穀ニ對スル關稅ノヤウニ御聽受ニナッ
テ居リマス、私ハ朝鮮米等ガ内地ニ這
入ッテ來テ内地米ノ脅威ヲスル、朝鮮米
ハ朝鮮ノアノ生活程度ノ低イ處デア
ルカラ、殆ド内地米ト鬚髯タル所ノ朝鮮
米ヲ内地ニ輸入シテ、而シテ朝鮮ニ外
米ガ入ルヤウナコトニナリハセヌカ
ト云フ恐レガアル、ソコデ政府ニ於テ米
穀法ノ運用ニ依テ量ノ調節ト價ノ調節
ヲ爲サル上ニ於テ、寧ロ進ンデ外米ヲ
官營ニスルト云フ御意思ハナイカ、サ
ウ云フヤナ御考ハナイカ、此點ヲ御答
願ヒマス

○小山政府委員 朝鮮ニ外米ガ入ッテ
朝鮮米ガ内地ヘ來ハシマイカト云フ御
話デアリマスガ、是ハ外米ノミニ限リ
マセヌ、朝鮮ノ方ニハ黍トカ其他ノ食
物ガ入ッテ參リマシテ、ソレニ依テ米ガ
内地ヘ入ルト云フコトモアル、外米ヲ
官營ニスルヤ否ヤト云フコトハ、只今
ノ所デハ考ヘテ居リマセヌ

○山内委員 尙ホ一ツ御尋致シタイ、
先ヅ農村振興ト云フコトニ對シテハ私
等ガ考ヘテ居ルコトト、農林省デ御考
ニナッテ居ルコトトハ少シク見當ガ違
フヤウニ考ヘル、是ハ議論ニナリマス
カラ避ケマスガ、詰リ當業者ガ米ヲ生
產スルニ生産費ガ價ハヌト云フコトニ
ナレバ、其當業者ハ當然ノ歸結トシテ萎
靡不振ニ陥ルコトハ極リ切ッタコトデ
アル、ソレデナクテモ農業者ガ薄利ナ
ルコトハ誰シモ承知シテ居ル、薄利ナ
ルガ爲ニ、採算ガトレナイ爲ニ、農村ガ
年ヲ逐フテ衰微スル、一例ヲ申上ゲレ
バ近時各都市ニ於テハ實ニ數十萬ノ失
業者ガアッテ困窮シテ居ル、斯ウ云フ連
中ハ速ニ國ヘ歸ッテ歸農シテハ如何ト
云フテモ、農業ノ薄利ナルコトヲ知ッテ
居リマスカラ、容易ニ歸農シヤウトハ
シナイ、今日ノ糧ニ困ッテ働クニ職ガナ
クテモ、尙ホ都會ニ戀々トシテ、農業ハ

嫌ダ、アンナ薄利ノ詰ラナイコトハ嫌
ダト申シテ歸ラウトハシナイ、農村ニ
住ッテ居リマス、教育、衛生、交通、總テ
ノ方面ニ於テ不備ナ點ガ非常ニ多イ、
仍テ少シテ頭ノアル人ハドウシテモ農
村ニ安ンジテ居ルコトガ出來ナイデ、
年一年ト都會ニ出ル人ノ數ヲ増シテ居
ル狀態デアル、目下農業者ハ國民ノ過
半數ヲ占メテ居リマス、此過半數ヲ占
メテ居ル所ノ農業者ガ、働イテモ働イ
テモ其生産費スラ償ヘナイト云フコト
ニ對シマシテハ、今少シク十分ナル御
考慮アツテ然ルベキモノナリト私ハ考
ヘルノデアリマス、要スル現在農村ニ
在ル三千萬餘ノ農民ハ、生産費ノ償ハ
ナイコトト、總テノ施設ノ上ニ文化ノ
恩澤ヲ受クルコトノ薄キモノナリト云
フヤウナ感ジヲ起スノデアリマス、今
少シク農村振興ト云フコトニ御留意下
サイマシテ、今一段ノ御努力ヲ希望スル
ヨリ外ナイノデアリマス、尙ホ最後ニ
一言御尋致シタイノハ、第五十議會ニ
於テ吾々各派相通ジテ建議案ヲ出シ
テ居リマス、是ハ尋常一樣ノ案デハナ
イ、ヤレ何處ノ鐵道ヲ拵ヘテ貫ヒタイ
トカ、何處ニ高等中學ヲ拵ヘテ貫ヒタ
イト云フヤウナ單純ナモノデハナイ、
頗ル重要ナ建議案デアルノデアアル、ア
ノ建議案ハ如何様ナ意思デ各派ノ議員
ガ提出シタカト云フコトニ付テハ、政
府ニ於テモ十分御諒知ノコトデアラウ
ト私ハ考ヘテ居ル、所謂政黨内閣ハ民

意ヲ尊重シ、民意ノ基礎ノ上ニ立ッテ居
ルモノデアル、此政黨内閣ノ閣僚ハ第
五十議會ニ於ケルアノ建議案ノ如キ
モノモ、總テ尋常一樣ノ建議案ト見做
サレテ居ルノデアアルカ、若モ之ヲ等閑
ニ附スルト云フヤウナコトガアリマシ
タナラバ、私ハ立憲政治ノ眞意、政黨内
閣ノ存在ヲ疑フト云フヤウナ結果ニナ
リハセヌカト思フ、此建議案ニ對ス
ル内閣諸公ノ御所見ヲ伺ヒタイト思
フ

石ニシ、二石五斗ニシ、更ニ三石ニスル
ト云フヤウニ努メルナラバ、生産費モ
十分償ヘルモノト考ヘマス、香川縣ノ
如キハ一段歩カラ相當多大ノ收穫ヲ取
ツテ居リマスガ、アア云フヤウニ收穫
ガアツタナラバ十分利益ガアラウト思
フ、此方面ニ對シテハ積極的ニ農林省
トシテハ施設モ致シテ居ルノデアリマ
スカラ、一方唯現狀ニ甘ンズルト云
フヨリモ、兩々相俟ッテ行クト云フ風ニ
努メタイト云フヤウニ考ヘテ居リマ
ス、ソレカラ建議案ノコトデアリマス
ガ、是ハ勿論議會ノ建議ナルモノハ其
御意思ノアル所ヲ尊重致サナケレバナ
リマセヌ、此事ニ付キマシテハ本會ニ
於テ大臣ヨリ御答ヲ申上ゲテ居ルコト
デアリマスカラ、私ハ繰返シテ申シマ
セヌ

モ穫レルト云フモノモ、收支ヲ計算ス
ルト引合ハヌト云ウテ今日デハ止メテ
居リマス、今農務次官ノ言フヤウナ、生
産費ヲ減ジテ農家ノ經濟ノ利益ヲ圖ル
ト云フコトニ付テハ、地方ニ於テモ十
二分ニ研究ヲ爲シツツアルノデアリマ
ス、單ニ從來ノ收穫ヲ増シテ以テ需要
者ニ便利ヲ與ヘルト云フコトハ、所謂
机上ノ空論デアルト斷定シマス、之ヲ
以テ私ノ質問ヲ打切りマス

○小山政府委員 生産費ノコトニ付テ
段々御話ガアリマシタガ、私ハ午前モ
御答申シマシタヤウニ、此點ニ付テモ無
論考慮ヲ拂ッテ居リマスガ、農村ニ居ラ
ル人々、農業ニ從事セラルル人々ハ、
更ニ一段ノ努力ヲ以テ此生産費ヲ低減
スルト云フコトニ付テ御留意ヲ願ヒタ
イ、現ニ農林省ニ於テ種々施設致シテ
居リマスモノニ付キマテハ、農具ノ改
良、優良農具ノ獎勵ヲ致シテ居リマス、
又肥料ノ施肥方法ニ付テモ、是モ常ニ
獎勵指導シテ居リマス、殊ニ肥料ノ如
キハ山内君ハ其方ニ付テハ十分御研究
デモアリマセウガ、明治元年以來ズツト
段々リノ收穫ヲ調べテ見マシテモ、尙
ホ農村ニ於ケル肥料知識ノ涵養ヲ一層
必要ト考ヘマス、其他栽培方法ニ付キ
マシテモ、品質改良ニ付キマシテモ、常
ニ努力シテ居リマスガ、現今一段歩ノ
收穫ハ一石五斗デアルトカ、一石九斗
デアルトカ云フテ居リマスガ、之ヲ二

○山内委員 只今政務次官カラ御答ノ
中ニ、農村ガ現狀ノ儘ニ居ッテ、生産費
ヲ減額スルト云フコトニ努力ガ足ラヌ
ヤウナコトガアツタト云フヤウニ聞ヘ
マスガ、是ハ當業者ノ方ニ於テハ、麥作
ニ於テモ權田式デ一段歩四石ヅツ穫レ
ル、或ハ米ニハ密植法デヤレバ幾ラ穫
レル、詰リ今マデノ二石穫レタノガ三
石、四石穫レルト云フヤウナコトハ、色
色ナ方面カラ獎勵シテ居リマス、併ナ
ガラ增收ヲセントスレバ、多少ノ技術
モ要シマスガ、肥料ト努力ガ從テ餘計
ニ要ルカラ、ソコデ一時非常ニ流行ッ
タ麥作ノ權田ト云フヤウナ、一段歩四石

先ヅ大體ニ於テ六十六億カト思ヒマ
ス、即チ六千萬ノ人口ニ對シテ一人百
圓ノ生産デアツテ、今回ノ關稅改正ニ蔽
ハレタル數ハ恐ラク六億圓ニ過ギナイ
カラ、即チ日本全體ノ生産ノ上カラ云
ヘバ、十分ノ一ノ生産業ヲ保護スル爲
ニ行ハレタル關稅ノ改正ト思ヒマス、
而シテ此十分ノ一ノ産業ヲ保護及ビ振
興ヲ圖ルト云フ御聲明デアリマス、而
シテ他ノ十分ノ九ハ更ニ顧ナイ、手ヲ
染メヌ、自然ノ勢ニ委セテ、其振興ヲ促
スト云フガノ如キ有様デアツテ、而シテ
政府ハ獨リ關稅改正ノミニ依テ産業ノ

○山本委員 一昨日來關稅改正ニ關シ
政府ノ御方針ノ在ル所ヲ承リマシタ
ガ、私共繰返シテ此席カラ申上ゲマシタ
通り、今回ノ關稅改正ニ現ハレマシタ
ル數字、即チ今回ノ關稅改正ニ蔽ハレ
タル所ノ生産業ノ統計ハ、日本全體ノ産
業カラ見テ極メテ限局サレタル微細ナ
ル範圍デアツテ、私共詳シイ統計ハ持チ
ヲセヌケレドモ、日本ノ産業ノ總計ハ
先ヅ大體ニ於テ六十六億カト思ヒマ
ス、即チ六千萬ノ人口ニ對シテ一人百
圓ノ生産デアツテ、今回ノ關稅改正ニ蔽
ハレタル數ハ恐ラク六億圓ニ過ギナイ
カラ、即チ日本全體ノ生産ノ上カラ云
ヘバ、十分ノ一ノ生産業ヲ保護スル爲
ニ行ハレタル關稅ノ改正ト思ヒマス、
而シテ此十分ノ一ノ産業ヲ保護及ビ振
興ヲ圖ルト云フ御聲明デアリマス、而
シテ他ノ十分ノ九ハ更ニ顧ナイ、手ヲ
染メヌ、自然ノ勢ニ委セテ、其振興ヲ促
スト云フガノ如キ有様デアツテ、而シテ
政府ハ獨リ關稅改正ノミニ依テ産業ノ

振興ヲ圖ルベキモノデハナク、他ノ各般ノ施設ト相俟テ振興ヲ圖ルト云フコトデアリマスケレドモ、今日日本全體ノ經濟ノ狀況カラ考ヘ、貿易ノ逆調ノ繼續シテ居ル狀況カラ考ヘテ見ルト、此重大ナル時ニ際シテ、唯漫然關稅政策ト相俟テ各般ノ施設云々ト云フ御話ダケデハ、其前途ニ對シテ不安ヲ感ズルノデアリマス、吾々ハ今日日本ノ立場ニ於テ斯様ナル政策ヲ行ヒ、斯様ナル施設ヲ行ッテ、五年、十年國民ヲ忍ベルダケ忍バセテ、其時機ガ來レバ關稅其他貿易ノ如キ、均衡ガ保テルト云フコトニ付テハ大體ニ於テ目的ヲ立テ、國民ニ示サナケレバ吾々トシテハ唯其狀況ヲ迪ッテ行カナケレバナラヌコトニナルト思ヒマス、只今モ申ス通り、今回ノ關稅改正ハ日本全體ノ產業ニ對シテ僅ニ十分ノ一デ、十分ノ九ハ麥作ノコトヤ、海外ニ貿易官ヲ派遣スルトカ、正金銀行ガ印度ニドウスルトカ、或ハ荷造ガドウト云フコトデアリマスガ、是ハ根本問題カラ見ルト殆ド枝葉末節ノマダ末端デアッテ、日本ノ國家經濟ノ根本ニハ觸レテ居ナイト言ウテモ差支ナイ問題デアリマス、殊ニ此十分ノ九、即チ私共目シテ以テ最も重大ナルモノト思フノハ、國本ノ培養デアッテ、其中デ最も重大ナルモノハ恐ラク農業ガ其中デアリマセウ、ソコ段々ノ質問應答ノ御趣意デ承リマシタガ、出來ルダケヤッテ見ルケレドモ、及バナケレバ仕

方ガナイガ、成算ガアルト云フコトガ、私共ノ頭ニハ了解ガ出來ナイノデアリマス、更ニ山林ノコトニ付テモ木材ノ輸入ハ先達モ申上ゲタ通り、一億幾千萬ト云フ輸入デ、是ハ皆無稅デアル、日本ノ領土ノ多クハ殆ド山デアアルカラ、山林國ト云ッテ宜イノデアアルガ、私共承ッテ居ル所ニ依ルト、日本ノ山林ノ成長力ハ二億二千萬石、消費量ハ二億六千萬石デ、四千萬石ハ毎年伐リ盡サレテ、統計ノ上カラハ三十八九年、乃至四十年ヲ以テ、日本ノ山林ガ伐リ盡サレルト云フコトデアリマス、此山林狀態ニ加フルニ尙ホ絕對必要ノ爲メニ外國カラ輸入シテ居リマスガ、是ハ各般ノ施設ニ依テ巧ク行ケルト云ヘマスケレドモ、政府ノ山林ナドハ、洵ニ微々タルモノデアアル、山林政策ハ安心シテ宜イ、何年カ經ッテ日本ノ根本資源、或ハ國ノ經財力ノ上ニ安心ノ出來ル立場ニ立タルルト云フコトハ、今日ノ政府ノ施設ノ上デハドウシテモ窺フコトハ出來ヌ、更ニ最も危險ニ感ズルノハ、日本ニ於ケル重要產業中ノ鑛山デアリマス、最近ノ統計ニ依ルト三億五千萬圓内外ノ鑛物ノ產出デアリマスガ、之ヲ獎勵スル爲ニ從來政府ノ執ッタ方針ヲ見ルト、大正十一年ニ銅ノ値段ガ下落シタノデアリマスガ、是ハ主トシテ亞米利加ニ於ケル銅ノ產額ガ非常ニ多クナッ

テ、急ニ關稅ヲ増シテ此暴落ヲ防ギ、當業者保護ノ途ヲ圖ッタノデアリマス、而シテ今回モ銅ニ對スル輸入稅ガ即チ同率ノ下ニ依然トシテ殘サシテ居ル、所デ鑛山ニ對スル政府ノ一般ノ御方針ハドウデアアルカト云フト、一面ヲ顧ミマスルト此鑛山ノ中デ最も深憂スベキハ石炭デアアル、石炭ハ一年ニ三千萬噸產出シテ居ル、一噸七圓ト見積リマシテ二億一千萬圓、此最も重大ナル石炭ノ方ハ依然トシテ無稅デアアル、等シク鑛山業デアアル、此鑛山ニ從事スル何百萬ノ人夫ハ、即チ社會問題トシテ考ヘテ見ナケレバナラヌノデアアル、又其鑛物ヲ運搬スルニ從事シテ居ル多數ノ人夫、是等ヲ綜合スルト非常ナ大キナ數ニナル、國民何百萬ノ死活問題ニ關スル生產業、之ヲ如何ニシテモ國家ガ保護セントスル觀念デアアルナラバ、銅ト石炭トノ間ニ何ノ差ガアルカ、若シ石炭ヲ以テ工業ノ燃料ト手工業ノ根本用材トシテ必要デアアルカラ之ヲ無稅ニスルト云ヘバ、銅ハ何デアアル、矢張工業ノ一大要素ヲ成シテ居ルノデアアル、同種類ノ產業ニ對シテ政府ガ執リタル方針ハ全ク私共ハ了解スルコトガ出來ナイ、石炭ノ狀況ヲ見マスレバ私共改メテ言フマデモナイ、撫順炭ノ如キ、山東炭ノ如キ、實ニ天恵、天カラ殆ド恵マレタル如ク多ク、炭質ニ於テモ、鑛量ニ於テモ、吾々ガ信ズル所ニ依レバ、若シ設備サヘ完成スレバ、一

噸二圓内外ナラバ採掘ガ出來ルト云フヤウナ大キナモノガ支那ニ起ッテ居ル、是ガ盛ニ日本ニ輸入ヲセラルルノデ、產業ヲ壓迫スルノハ當然デアアルノデアアル、併シ此點カラ考ヘテ、先刻申上ゲル通り、此日本ノ鑛山ガ三千萬噸ヲ產出シ、何百萬ノ人ガ從事シテ居ル所ノ鑛山ガ等シク壓迫ヲ受ケル、其壓迫ヲ助ケル爲メ、公正ナル外國ノ品物ニ對シテ、外國ノ產業ニ對シテ保護スルト云フ御趣意デアアル、而シテ其一端トシテ銅ニ對シテハ左様ナコトガ實際ニ行ハレテ居ルニ拘ラズ、石炭ニ對シテダケハ何等之ヲ顧ミナイト云フコトハ、私共ハドウシテモ政府ノ根本方針ナルモノヲ了解ニ苦シム所デアアルノデアリマス、殊ニ農產物ニ附屬シマシテ肥料ノ如キ、一億數千萬圓ノ肥料ガ這入ル、此肥料ハ何デアアルカ、大豆糶ノ如キ、若ハ硫酸「アムモニヤ」ノ如キ、窒素肥料ノ如キ、今日デハ過磷酸肥料ノ需要ハ左様ニ多クハナイガ、是等ハ悉ク日本デ出來ル、電氣ヲ使ヒ、石灰、窒素ヲ使ヒ、今日デハ完全ニ出來テ、而シテ其金額モ既ニ國內デ產スルモノガ約三千萬圓内外ニ達シテ居ル、容易ク出來ル、而シテ其原料ハ何デアアルカト云ヘバ、原料ハ空中ノ窒素デアアル、原料ハ外國カラ輸入スル品物デナイ、而シテ電力ト空中ノ窒素デアアル、是等ヲ獎勵シテ輸入ヲ防ギ、且ツ低廉ナル肥料ヲ農家ニ供給スルコトガ今日ノ產業ノ根本方針デナケレバナラ

スノデアル、然ルニ今回ノ提出案ヲ見
マシテモ、是等ノ肥料ニ對シテハ全部
無稅ニナツテ居ル、私共ハ政府ノ唱ヘラ
ルル所ノ産業保護ノ根本方針ナルモノ
ハ、果シテ何處ニ在ルカト云フコトヲ
理解スルコトガ出來ナイノデアリマス、
石炭ニ對スル無稅及ビ肥料ニ對シテノ
コトガ別ニ御考慮ノコトガアルト云フ
ナラバ別ノコト、私ハ此方針ニ對シテ
不審ノ點ガアルノデ御尋申上ゲルノデ
アリマス、御答ハ商工大臣ナリ、農林次
官ナリ、何方デモ事情ニ御精通ノ方カ
ラ御答辯ヲ得レバ宜シウゴザイマス

○小山政府委員 商工、農林兩省ニ互ッ
テノコトデアリマシテ、先ヅ最初ニ御
尋ニナリマシタ農林省方面ノコトヲ私
ハ御答ヲ申シマス、商工省ノコトハ大
臣カラ御答ニナルコトト存ジマス、産
業政策ニ付テモ段々御意見モアリマシ
タ、固ヨリ私共ハ矢張山本君ト御同感
デアル、少シモ違ッテ居リマセヌ、其御
意見ニ基イテ農林省トシテハ各般ノ施
設ヲ致シテ居ルノデアリマス、食糧問
題解決ノ爲ニハ各般ノ施設ヲシテ、其
増殖ヲ圖リ、品種ノ改良ヲ圖リツツア
リマス、而シテ昨日山本君ノ御説ガ
アリマシタガ、若シ現在ノモノヲ保護
シテ將來其目的ヲ達シ、所謂自給自足
ノ出來ルヤウナモノデアラナラバ、思
切ッテソレヲヤッタラドウカト云フヤウ
ナ御意見モアリマシタ、私共左様ニ思
ヒマス、午前其一例トシテ「コンデンス

ミルク」ナルモノヲ引合ニ申上ゲマシ
タガ、更ニ何レ此關稅委員會デモ御質
疑等モアリ、御答申上ゲナケレバナラ
ヌコトト思ヒマスガ鳥卵ノ如キモノ、
農林省ト致シテハ近時鳥卵ノ輸入ガ多
額ニナツテ參リマスノデ、是等ニ對シテ
ハ如何ニシタラ宜カラウカ、殊ニ一方
ニ於テハ農家ノ副業トシテ、重要ナル
施設ノ一ツデアリマス、五十議會ニ於
テ農村振興費二百五十萬圓御協賛ヲ得
マシタ、其中ノ重要ナル施設ノ一ツト
シテ此養鶏事業ノコトモ這入ッテ居リ
マス、此御趣旨ノアル所ニ依リマシテ
私共ハ最善ヲ盡シテ居ル、例ヘバ此頃
國民一人當リ鶏卵ノ消費ハ三十七八箇
ニ當リマセウ、是ハ十年ヲ出ズシテ私
共ハ五十五箇位ニナルト思ヒマス、而
シテ自給自足ガ出來ルカ、私共ハ自給
自足ガ出來ルト確信致シテ居リマス、
今日ノ狀態ヲ以テ、尙ホ農林ガ協力シ
テ下サルナラバ自給自足ガ出來ル、斯
ウ考ヘテ居リマスガ、ソレモ大シタコ
トデナク、農林ガ今日養鶏事業ヲ爲シ
テ居ル者ヨリモウ少シ殖エマシテ、サ
ウシテ一年一羽二百二、三ノ産卵ヲ、尙
ホ之ニ數箇ノ産卵能率ヲ擧ゲサセルト
云フコトニナリマスレバ、私共ハ十年
ヲ出ズシテ支那カラ參ル鶏卵ヲ驅逐ス
ルコトガ出來ルヤウニナルト考ヘテ居
ル、是等ノコトニ對シテモ相當ノ施設
ヲ致シテ居リマス、是等ハ一例ヲ舉ル
ニ止マルノデアリマスガ、其他關稅ノ

ミヲ以テ保護シテ行カウトスルナラ
バ、今ノ關稅ヲ三倍ニシテモ四倍ニシ
テモ到底行ケルモノデハナイ、關稅ノ
コトモ考慮シナケレバナラヌガ、一方
ニ能力ヲ上ゲルト云フコトモ考慮シテ
貰ヒタイ、ソレカラ山林ノコトニ付テ
御話ガアリマシタガ、是ハ山本君ガ昨
日モ大臣ニ御尋ニナリマシタガ、私ハ
曩ニ本會議ニ於テ此山林政策ノ一端ヲ
申上ゲマシタガ、此山林ハ抛ッテ置キハ
致シマセヌ、現ニ此關稅ノ御手許ニ在
リマスル表ノ費目ヲ御調ベ下サイマシ
テモ、我國ノ山林ノ將來ヲ考ヘマシテ、
最モ保護シナケレバナラヌモノハ幼齡
林デアルト考ヘマス、幼齡林ハ我國
ノ今日ノ山林政策カラ見テドウシテモ
是ハ保護シナケレバナラヌ、殊ニ此頃
小角材ト申シマス、アア云フ細カイモ
ノガ參リマシテ幼齡林ニ對スル壓迫ガ
酷イ、殊ニ南洋カラ近時幼齡林ヲ壓迫
致スベキヤウナ材料ガ這入ッテ參リ
マス、故ニ山林政策ノ基礎ヲ危クシ
ナイウニ、小角材ノ稅率ヲ引上ゲテ
居ル、是等ハ山林政策ノ一端ヲ申上ゲ
ル一例トシテ御諒承ヲ乞ヒタイノデ
アリマス、ソレカラ肥料ノコトデア
リマスルケレドモ、此肥料モ洵ニ御
尤ナ次第デ、肥料ノ改良ヲ圖リ、先刻山
内君ニ御答申上ゲマシタ中ニモアリマ
スル通り、此作付段別ニ對シテ相當ノ
成績ヲ擧ゲテ參ッテ居ルノハ、全ク肥料
ノ關係デアリマス、栽培法ニ關シテノ

指導モアリマスルケレドモ、肥料ノ關
係ハ忽セニスルコトガ出來ナイコトモ
アツテ、肥料ニ付テハソレゾレ省ニ於テ
施設又御意見ノアル所ハ取ッテ以テ尊
重スベキモノハ最善ヲ盡シテ居リマ
ス、ソレカラ尙ホ窒素肥料ノコトニ
付テノ御尋ガゴザイマシタガ、是ハ商
工省ノ方ニ十五年度豫算トシテ要求
シテ居ルモノモアルヤウデアリマス、
商工省ニ於テモ是ハ相當ニ考慮セラ
レテ居ルヤウデアリマス、私ノ御答
申上ゲルノハ右様ニ止メマシテ、後ト
ハ商工大臣カラ御答申上ゲルノガ適當
ト考ヘマス

○片岡國務大臣 只今山本君ノ御質問
ハ、其道ニ御精通ダケニ最モ重キヲ置
イテ承ッタノデアリマス、今回ノ關稅改
正ノ方針其モノニ非常ノ御不滿ノヤウ
ニ承ッタノデアリマスガ、今回ノ關稅改
正ノ産業ノ方面カラ見テ立テマシタ方
針ナルモノハ、大體ニ於キマシテ我國
ノ鑛業ノ發達ノ道程ニアルモノニシ
テ、此際外國ヨリ價格ノ上ニ於テ競争
ノ出來難イ、ソレガ爲ニ折角發達ノ道
程ニアルモノヲ遂ニ發達セシムルコト
ガ出來ナイヤウニナルト云フモノヲ、
保護ヲ加ヘテ發達セシメテ、遂ニ自給
自足ニ至ラシメタイト云フノガ第一ノ
主眼デアリマス、次ニハ比較的發達ガ
出來テ、海外ノ多少ノ競争ヲ仕向ケラ
レテモ、其基礎ヲ危クスルコトノナイ

所信ニ基クモノハ、現狀ノ儘ニ置キ、若クハ無稅ト云フマデニ致シテ居ルノデアリマス、其中多少ノ取除法ヲ考ヘナケレバナラヌノハ、此關稅ノ爲ニ生産者ハ非常ノ保護ヲ受クルコト勿論デアリマスガ、是ガ爲ニ消費者ハ關稅ヲ賦課セラルルダケ負擔ノ重キヲ感ズル譯デアリマスカラ、此點ヲ餘程考慮致シマシテ、大體ノ目的ヲ達スルコトノ妨ゲニナラズ、又一方消費者ノ立場ニ於テ非常ニ苦ミヲ受ケザル程度ニ於テ、關稅率ヲ按排シテ居ルノデアリマス、就中食料品ノ如キハ、一般國民ノ缺クベカラザル必需品デアリマスルガ爲ニ、成ベク此關稅ヲ重カラシメヌヤウニシヤウト云フ意味ヲ加ヘテ居ルノデアリマス、ソレデ此關稅案ヲ立テマサル迄ニハ、既ニ其道ノ者ニ於テ調査委員會ナルモノヲ組織シテ調査ヲシ、尙ホ本年愈總體的ニ改正ヲ加ヘルト云フ方針ヲ決メマスルヤ否ヤ、又重ネテ其道ノ者ヲ以テ組織シテ、調査研究ヲ加ヘシメテ、相當注意ノ上ニ注意ヲ拂ッタ積リデアリマス、去リナガラ今回提出シタ關稅案其モノモ可ナリ大キナ數量ニ互テ居リマス、尙ホ之ニ漏レテ居リマス、サウ云フモノハ第二次關稅改正ヲ企テルノ外ハナイノデアアル、到底此議會マデニ間ニ合ハヌモノハ次ニ廻シテ、間ニ合ウモノダケヲ此處ニ提出シタト云フニ外ナラヌノデアリマス、之

ヲ以テ總テガ解決セラレタモノトハ思フテ居リマセヌ、而シテ其内容ニ入ッテ銅ニハ先年亞米利加ヨリ非常ニ安ク輸入ヲシテ來ルガ爲ニ、營業者ノ立場ヲ保護スル必要上カラ關稅ノ引上ヲ行ッテ、之ヲ今回モ其儘ニシテアルガ、石炭ノ如キハ何等ノ考慮ヲ致シテ居ラヌト云フコトハ、同ジ礦物ニ對シテ一貫シタ定見ヲ有シナイモノデアルト云フ御攻擊ヲ承ッタノデアリマス、御承知ノ通り日本ノ石炭ハ最近ニ於テ正確ナ調査ヲ遂ゲタモノデハゴザイマセヌカラ、確乎不拔ノモノトシテ申サレヌノデゴザイマセヌガ、先ヅ探掘シ得ベキモノガ約三十億噸位ハアルデアラウト稱セラレテ居ルノデアリマス、一時探掘致シマシタ時ハ仰セノ如ク三千萬噸ヲ超シタコトガゴザイマセヌルガ、最近ハ少々減ッテ居ルト思ヒマス、是ハ多少海外ニ輸出スルダケノ今日ハ餘力ヲ持ッテ居ル、併ナガラ此餘力ヲ持ッテ居ルカラドシトシ使ッテシマッテ、後トハドウナッテモ宜シイト云フガ如キ考ヲ以テ此儘ニシテ居ルノデアリマセヌガ、一面ニ燃料ノ研究ヲ企テマシテ、專ラ此燃料研究ノ結果、有益ニ消費スルコトニシテ、無益ニ消費サレテ居ルモノヲ避ケル研究ヲ今サセテ居リマスルコトモ、御承知ノ通りデアリマス、銅ノ如キト石炭ヲ同一ニ論ズルモノデハナイ、又仰セノ言葉中ニ撫順炭礦ノ御話モゴザイマシタ、是ハ我國ニモ多少這

入ッテ居リマス、是ハ御承知ノ通り我國ノマア謂ハバ勢力範圍ト申シマスカ、我國ノ力ヲ以テ經營ヲ致シテ居ルモノデアリマシテ、是モ相當立行クヤウナコトヲ考ヘルト云フコトハ、我國トシテ必要デアアル、去リナガラ是ガ日本ニ輸入スルガ爲ニ、日本ノ石炭業者ガ非常ノ壓迫ヲ加ヘラレルト云フガ如キコトハ、營業者ノ協定ト道義心トニ依テソコマデノ不都合ハ見テ居ラヌノデアリマス、此石炭ナルモノヲ無稅ニシテ置クガ爲ニ、礦業ニ對スル方針一貫セザルモノト御論斷ニ相成リマスルノハ最初私ノ申上ゲタ今回關稅改正ノ方針ノ根本ニ基イテ、對照シテ御考下サシマシタラバ御了解ガ出來ルト存ジマス、ソレカラ肥料ニ就テ御話ガゴザイマシタガ、是ハ今舊式ノヤリ方ヲ以テスルモノト、多少外國ノ特許權ヲ買受ケテヤッテ居リマスルモノトヲ相加ヘマシテ、約十二萬噸位ノモノガ出來テ居リマス、サウシテ更ニ十五萬噸バカリノモノガ輸入サレテ居ルコトハ事實デアリマス、是ハ此「ハートヴァー」法ナルモノノ研究ヲ仕途ゲマシタナラバ、近ク工業的ニ、所謂經濟的工業トシテ、モウ少シ多量ノモノヲ安ク生産シ得ルコトガ出來ルデアラウト思ヒマス、是ハ本來肥料ノ見地カラデゴザイマスカラ、今回ノ關稅ニ對シテハ其意味ヲ加味シテ居リマセヌ、尙ソレニ付キマシテ少シ附加ヘテ申上ゲタイト存ジマスルコ

トハ、日本ノ國力ヲ増進スルト云フ上カラ、努メテ輸入ノ多額ナルモノ、而シテ日本ニ於テ其事業ガ成立致スコトカ、或ハ基本的工業トナリ、國ノ隆盛ヲ促ス上ニ於テ必要ナルモノ、或ハ鐵ノ如キ、或ハ染料ノ如キ、肥料ノ一端カラ申シマスレバ曹達灰ノ如キ、隨分多額ノ輸入金額ニ相成ッテ居ルモノガアルノデアリマス、尤モ染料ノ如キハ金額ノ上カラ云ヘバ、染料其物ダケハサウ大シタ金額デハゴザイマセヌガ、此染料ヲ拵ヘマスルマデノ道行ノ間ニ生ズルモノハ輸入ヲ受ケテ居リマスルモノモゴザイマセヌシ、國ノ存立上缺クベカラザルモノモアルノデアリマス、要スルニ是等ノ多額ノ輸入物ニ對シテハ、一日モ早く我國ニ於テ自給自足ガ出來從テ其結果トシテ輸入ガ減ズル、斯ウ云フコトニナラナケレバナラヌト考ヘマシテ、今ノ曹達灰ノ如キモノニ於キマシテモ、研究ハ最早殆ト出來タト思フ仰セノ如ク一點ノ疑ハナイト思フ、唯茲ニ工業用ノ鹽ナルモノガ、今ノ鹽專賣ノ下ニ抑ヘラレテ居ルノデアリマス、十分ニ專賣局カラ工業用ノ鹽ヲ下附スルト云フ途ヲ開ケバ、一モ二モナイノデアリマス、是ハ目今ノ需要供給ノ關係ニ於テ、サウモ參リマセヌ點ガアリマス、是ニ於テ專賣局ニ於テ別ニ工業用ノ鹽ヲ拵ヘルカ、若クハ工業用ノ鹽ダケハ別モノトシテ製造ヲサセルカ、何レカノ方法ヲ定メルコトガ最モ

急ナノデアッテ、此途ガ解決シマスレバ、曹達灰其物ハ輸入品ヲ防グコトガ出來ルデアラウ、此點ニ就テハ專ラ今攻究ヲ進メテ居ル所デアリマス、遠カラズ解決ノ方法ガ付クデアラウカト思フ、鐵ノ如キ問題ニ至リテハ、新聞紙上ニモゴザイマシタシ、又先達本會議ニ於テモ簡單ナガラ申上ゲタ如ク、是モ遠カラズ自給自足ノ目的ガ達セラレレデアラウト思ヒマス、斯様ニシテ我國ノ産業ヲ保護スルバカリデナク、國ノ根本ヲ丈夫ニスルト云フ點ニ對シテハ、現在ノ輸出入ノ實狀ニ顧ミテ、相當ノ畫策ヲ進メテ居ル所デゴザイマス、大要御質問ニ對スル御答ノ要點ハ盡シタト思ヒマスガ、尙ホ重ネテ、御質問ガアレバ承リマス

○山本委員 只今商工大臣及農林次官カラ御説明ヲ承ツタノデアリマスガ、私ノ根本論トシテ申上ゲテ居ル主旨ハ、國ノ經濟ノ根本ガ如何ニモ不安デアル、此點ヲ深ク憂ヘマシテ、主トシテ其出發點カラ御尋ヲ致シタノデアリマス、然ルニ御答ハ本會ヘ提出セラレマシタル關稅改正ノ理由、ソレハ殆ド工業ニ屬スルモノニ限定サレテ居ルカノ如ク見エル、全部トハ申シマセヌガ——之ニ對スル提出ノ趣旨ヲ御説明ニナツタノデアッテ、少々出發點ニ於テ異ツテ居リハセンカト思フノデアリマス、是ハ我國ノ國策トシ、根本經濟策トシテ極メテ重大ナ問題デアルシ、慎重ニ

計畫ヲ立テナケレバナリマセヌ、此場合、只今ノ御答ニ對シテ、繰返シテ私ノ趣旨ヲ述ブルコトハ、唯議論ヲ重ヌルニ過ギマセヌカラ、此程度ニ於テ私ノ右ニ關スル質問ハ止メマス、更ニ此場合商工大臣ニ御伺ヲ致シタイ、今日ノ新聞ヲ見マスト、支那ニ於ケル關稅會議ニ對シ、更ニ佐分利局長ハ新シイ案ヲ持ッテ支那ヘ向ハレタト云フコトデアル、而シテ其内容ヲ新聞紙ニ依テ見マスト、最低稅率七分五厘、最高三割ニ至ル、此輸入稅ヲ認ムル、而シテ此關稅ノ引上ニ依テ、支那政府ガ得ル所ハ七千萬圓、即チ日本ノ通貨ニシテ一億萬圓程ノ關稅收入ヲ支那ニ於テ増加スルコトヲ日本ノ政府ハ認メントスルノ方針ガ定マツタヤウデアリマス、而シテ日本ガ今回關稅改正案ヲ御提案ニナリ、之ニ依テ得ル所ノ收入ハ千九百何十萬圓、而シテ此提出ニナリマシタル御趣旨ハ、日本ノ産業ヲ保護スル道筋トナリ、産業ヲ助クル、或ハ將來國ノ基本工業トシテ必要ト認ムル産業ノ進歩ヲ圖ルト云フ御趣旨ノ下ニ、此關稅改正案ガ御提案ニナツテ居ルノデアリマス、御承知ノ通り支那ト日本トハ經濟上極メテ密接ナル關係ガアルノデアリマス、今日日本ガ工業原料ヲ外國カラ輸入シ、之ニ加工シテ、其販路ヲ求ムル最モ大キナ市場ハ支那デアリマス、是マデ支那ノ工業ガ極メテ幼稚デアッテ、日本ハ工業國トシテ支那ヘ輸出シテ行クノ

ガ目的デアリ、又ソレニ成功シテアルト深ク吾々ガ考ヘテ居タノハ、或ル點ニ於テハ其觀測ヲ誤ッタ點ガアルノデアリマス、今日支那ノ工業ハ駸々タル勢ヲ以テ進ミツ、アル狀況デアリマス、現ニ日本人ノ紡績以外ニ投資シタ金額ハ殆ド二億圓ニ垂ントシテ居ルト考ヘテ居リマス、若シ支那ノ關稅ガ此以上、七分五厘ヲ最低トシ、最高三割ニ引上ゲマシタル場合ニ於テ、是ガ日本ノ産業、日本ノ經濟ニ影響スル點ヲ想像致シマスルニ、今日マデノ支那ノ稅率ニシテモ、日本ノ資本家ハ二億圓ト云フ大キナ金ヲ以テ支那ニ於テ産業ヲ營ンデ居ルノデアリマス、而シテ其結果ハ如何ナル影響ガ日本ニ來タカト云フコトヲ過去ノ實例ニ就テ私共ガ見ル所ニ依リマス、曾テハ日本ノ主要輸出品デアッタ所ノ燐寸ノ如キ、今日ハ北清全體ニ對シテ一箱モ輸出ガ無クナツテ、全部支那デ製造スルコトニナツテ居リマス、又「タオル」ノ如キ、是又中清及北清ニ於テハ悉ク向フノ産業ノ發達ニ依テ全ク日本ノ輸出ハ杜絕シタノデアリマス、此二億萬圓ノ資本ヲ支那ニ投資致シマシタコトニ依テ、何人ガ利益スルカト云ヘバ、之ヲ携ヘテ支那ニ投資シタ——日本デ同一ノ事業ヲ行ヘバ年一割ノ利益デアルガ、支那デ行ヘバ二割ニナル、勞銀ガ安イシ、關稅ノ保護ガアル、之ニ依テ利益スル者ハ、資本家ガ唯己ノ資本ニ對シテ

日本ニ投資スルヨリハ、少シ優秀ナル利益ヲ得ルト云フコトノ外ハ何モナイノデアリマス、而シテ反面ニ於テハ内地ノ結果ハ如何デアルカ、此二億圓ヲ投ジタル紡績業其他ノ産業ガ日本デ起ッタト假定致シマシタナラバ、何十人何百人ノ職工勞働者ニ向ッテ食ヲ與ヘルコトガ出來ルノデアアル、若シ斯ノ如キ目的ヲ以テ支那ノ關稅ガ今日ヨリ更ニ低下サレ、帝國政府進ンデ自ラ稅率ヲ修正シテ行クト云フ狀態ニナツタ時ニ、——左様ナルコトヲサレルコトト致シマシタナラバ、將來日本ト支那トノ産業、日本ノ此失業率ノ問題ノ器タル時、種々社會的方面ニ向ッテ影響スル所ハ極メテ大ナリト私ハ考ヘテ居ルノデアリマス、原料タル所ノ、若クハ食料デアアル所ノ大豆デアアルトカ、綿デアアルトカ云フ原料品ヲ支那ニ仰グノミナラズ、斯ノ如キ勢ヲ以テ推移シテ參リマセウナラバ、恐ラクハ工業品ヲモ支那カラ求メナケレバナラヌト云フヤウナコトニナル場合ガ、到達シヤセヌカト思フノデアリマス、政府ノ御考モサウデアラウガ、吾々ノ考モサウデナケレバナラヌガ、日本ノ主要産業ヲ保護シ、日本ノ貿易ヲ開展スル、此御趣旨ト、支那ニ臨マレマス所ノ態度ト大ニ矛盾シタ所ノ結果ヲ茲ニ生ジハセヌカト深ク憂フルノデアリマス、支那ノ關稅改正ニ臨ムニ當リマシテ、偶同時ニ日本ノ關稅モ齊シク改正セラレントシテ居

ル場合ニ、之ニ臨ムニ向ッテ必ズヤ大ナル考慮ガ當局トシテハ拂ハレテ居ラネバナラスト思フノデアリマス、之ニ付テ商工大臣ノ御所見ヲ承リタイノデアリマス

○片岡國務大臣 只今ノ御質疑ハ洵ニ御尤ノ御質疑ト存ジマス、支那ガ近來追々工業ノ發展其他日本ノ貿易品ニ對シテ、支那自身ニ於テ之ヲ作ッテ、日本ノ輸入ヲ防グト云フ事實ガ、段々進歩シツアルコトハ疑ナイ事柄デアリマス、併ナガラ今御尋ノ要點タル今回ノ關稅會議其モノニ對シテ、日本ノ今日ノ貿易狀態ニ對シテ、甚シキ變化ヲ與ヘルト云フガ如キコトヲモ顧ナイ、斯様ナルコトハ少シモアリマセス、或ハ新聞ニハ今ノ御話ノヤウナコトガ書イテアツタカモ知レマセヌケレドモ、私ハマダ其新聞ハ見テ居リマセヌガ、必ズ正確ノモノトハ信ジナイノデアリマス、要スルニ今回ノ關稅會議ニ於キマシテ日本ノ綿絲其他輸出品ニ對シテ、甚シキ不利ヲモ顧ミテ居ラヌト云フガ如キ結論ヲ與ヘルヤウナ遣リ方ハ、決シテ致シテ居ラヌノデアリマス、是ハ少シク進ンデ御話ヲ申セバ御了解モ出來易イト存ジマスガ、成程佐分利君ガ歸ッテ居ッタコトモ事實デアリマス、事實デアリマスガ、之ニ對シテ日本ハ斯ウ云フ風ニヤル、アア云フ風ニヤルト云フヤウナ内容ハ、未ダ其モノガ出テ居ル譯デモナシ、此場合ニ於テ申上ゲ

ルコトハ日本ノ爲ニモ利益トナラヌト存ジマス、要ハ日本ノ貿易狀態ノ上ニ著シキ激變ヲ與ヘテ、苦痛ヲ感ゼシメルト云フガ如キコトハ、ナイヤウニシナケレバナラストシテ努力致シテ來ツツアリマス、ノト同時ニ、日本ノ産業ノ壓迫ヲ少シモ顧ナイト云フガ如キ意思ハ、支那ニ於テモ有ッテ居ルヤウデアリマセヌカラ、此點ニ對シテハ御意見ノ國ヲ憂フル點ニ於テノ御考ト、歸著點ハ略同一要點ニ達シハセヌカト考ヘテ居リマス、併ナガラ此機會ニ於テ一言茲ニ加ヘテ置キタイト存ジマスコトハ、支那ガ憐寸ニシロ、綿絲ニシロ、今例ニ舉ゲラレマシタ「タオル」ノ如キ、著々拵ヘテ日本ノ輸入品ヲ防キ、此防止シタコトニ對シテハ日本ノ綿絲業者其者ハ單リ支那ニ對スルバカリデハナクシテ、印度支那或ハ英領印度其他亞弗利加ノ方面ニマデ多少擴ガリツツアル、又將來擴ガル地方モアルト思ヒマスガ、一方ニ支那デサウ云フ工業ガ進ンデ參レバ、日本ハ其趨勢ニ鑑ミテ支那ト同一モノヲ以テ爭フト云フコトヲ廢テ、段々精巧品ニ移シテ行ッデ、支那ト日本トノ貿易上ノ爭ニ於テ超越ノ地ヲ占メテ行クト云フコトハ、當業者モ餘程ノ考ト努力ヲシナケレバナラスト思ヒマス、例ヘバ紡績ノ絲ノ上カラ申シマシテモ、初ハ太絲ガ盛ニ行ハレテ、今日支那方面ニ於テハ其方ガ寧ロ歡迎セラレテ居リマス、其他印度方

面ニ於テモサウデアリマセウガ、今日ノ英國ノ「マンチエスタ」邊リカラ來ル所ノモノハ、御承知ノ通りノ餘程精巧ナ細絲ニ轉ジテ來テ居リマス、日本ノ綿絲業ノ如キモノハ餘程發達シマシタガ、現在ニ満足セズシテ是カラ移ッテ行ク所ノ斯業ニ顧ミテ、之ニ應ズル所ノ法策ヲ執ッテ行カナケレバナラスト云フコトハ、是ハ避ケ難イコトト思ヒマシテ、政府トシテモソコニ指導ヲ用ヒナケレバナリマセヌガ、當業者トシテモソコニ注意ヲ拂フト云フコトハ、最モ大切ナ事ダラウト思ッテ居リマス、是ダケハ御質問ニ對シテ必要ハナカッタカモ知レマセヌガ、此場合ニ於テ明ニシテ置キタイト思ヒマス

○加藤委員長 次ハ倉元君デスガ、御質問ニナリマスカ

○倉元委員 私ハ大藏當局ニ御尋シマスカラ宜シウゴザイマス

○加藤委員長 其次ハ長田君ガ殘ッテ居リマシタ——長田君

○長田委員 大藏政務次官モ御在デニナリマスカラ、伺ヒ漏シタ事ヲ一點ダケ確メテ置キタイト思ヒマス、ソレハ昨年、何時頃デアリマシタカ、海軍ノ非職軍人ノ令嬢デアアル深谷綾子ナル妙齡ノ佳人ガ、伊太利人ノ「ユー・リッヂ」ト云フ者ヲ「ビストル」ヲ以テ銃撃ヲ致シタト云フ事ガ新聞ニ現ハレテ、世人ヲ驚カシタノデアリマシタガ、其新聞紙ノ傳フル所ニ依ルト、此「ユー・リッヂ」

ナル伊太利人ハ、數年來伊太利大使館内ノ一部ヲ借受ケテ此處ニ居住ヲ致シ、其生活ノ基本トナッテ居ル職業ハ酒類ノ密輸入ヲ企テテ生活ヲ致シテ居ル者デアルト云フ事ガ、新聞紙上ニ揭ゲラレテ居ッタノデアリマス、此點ニ對シテ本委員會ニ於テ伺ヒタイノハ、由來貴金屬或ハ什器、其他色々ナ物ニ於テ密輸入ノ企テガアルト云フコトヲ新聞紙上承知致シテ居リマスケレドモ、外人ノ密輸入ニ對シテハ常ニ霞ケ關ノ軟弱外交ノ其蔭ニ在ッテ、大目ニ見ラレテ居ルノデハナカラウカト云フ世人ノ疑惑ノアル點デアリマス、更ニ又大藏省ノ管轄トシテハ、此外人ノ密輸入ナドニ對シテハ一指ダモ染メルコトモ出來ナイ狀態ニ御居デニナルノデアラウ、此點ハ事小ナルガ如クニシテ、我が軟弱外交ト云フヤウナ忌ムベキ言葉ガ行ハレル今日ニ於テ、世人ノ疑惑ヲ一層深ク致シテ居ル點デアリマス、此點ニ對シテ外務省及ビ大藏省ヨリ適當ナル御説明ヲ承ッテ、國人ノ疑ヲ解イテ置キタイト考ヘルノデアリマス

○武內政府委員 只今長田君ヨリ御尋問題ニ付キマシテハ、當時各新聞ニ種ノ記事ガ載ッテ居リマシタノト、「ユー・リッヂ」ヲ襲撃ヲ致シマシタ小娘ノ豫審ノ問題トデ、密輸入ノ嫌疑ノアル事ヲ當局ニ於テモ認メマシタノデアリマス、ソレハ東京地方裁判所ノ豫審判

事ガ、當時「ユートリッチ」ノ住居デアリマシタ東京市麴町區紀尾井町五番地ノ伊太利大使館所屬ノ家屋ノ家宅搜索ヲ致シマシタ所ガ、其家屋ノ内ニ三十三樽ノ酒類ガアッタデアリマス、サウシテソレヲ段々取調ラ致シマシタ所ガ、其三十三樽ノ洋酒ノ中デ十七樽ダケハ正當ニ納税ノ上通過シタデアリマスカ、其他ノ十六樽ノ分ハ大使館ノ外務省ヨリ外交官ノ荷物デアルト云フコトデ、關稅定率法第七條第六號ノ扱ラスベキモノト云フ申告ガアリマシタカラ、之ニ基イテ、外交官ノ荷物トシテ稅關ニ於キマシテハ取扱ッタ荷物ナノデアリマス、故ニ其荷物ハ當然外交官ノ手許ニ在ルベキモノデアアルニ拘ラズ、「ユートリッチ」ノ保管ノ下ニソレガ在ッタト云フコトハ、大ニ疑フベキ點デアリマシテ、何カ代品交付トカ云フヤウナ風ノ不正ノ手段ヲ弄シタモノデハナイカト云フ嫌疑ヲ以チマシテ調査ヲ致シテ居ルデアリマスガ、丁度御承知ノ通り相手ノ「ユートリッチ」ガ病中デアリマシタ、又事外交官ニ關スルモノデアリマスルカラシテ、他ノ事件ノ取扱ノ通り敏捷ニ事件ノ調査ヲ進ムルコトガ出來マセヌケレドモ、決シテ當局ニ於キマシテハウツチャッテ居ルノデハアリマセヌ、矢張徹底的ニ問題ヲ調査シテ之ヲ解決致ス積リデアリマス、附加ヘテ申シマスルト、十六樽ニ對シマスル關稅ハ正當ニ之ヲ納メルト云フコト

ニナルト、國定稅率法ニ依リマスルト、約二千三百八十六圓ノモノデアリマシ、協定稅率ニ依リマシテモ千二百三十三圓ダケヲ納メンケレバナラヌ品物ナノデアリマス、只今長田君ノ御叱責ニナリマシタヤウナ外交軟弱トカ、其他稅關ノ不行届ノ點ニ引用サレテハ困リマスガ、サウ云フ風ノ事ハ從來ニ於テモ餘リ無イト考ヘテ居リマスケレドモ、此問題ハ只今申上ゲマシタヤウナ事情ニナツチ居リマスカラ、徹底的ニ今後モ斯ウ云フ事ノナイヤウニ刷新スルツモリデアリマス

○長田委員 只今大藏次官ヨリ巨細ナル説明ヲ承リマシテ了解スル所ガアリマシタ、併シ過去ニ於ケル種々ノ事蹟ヲ見ルト、外國人ニ對シテハ極メテ寛大ナリシ歴史ガ多イデアリマスカラ、是等或ハ國法ヲ侵シ、之ヲ侮辱シテ願ミスト云フガ如キ外人ノ行動ニ對シテ、嚴重ニ御取締リ下サルコトヲ切望致シテ置キマス、更ニ小山農林次官ニ一點御伺ヲ致シテ置キタイ點ガアリマス、甚ダ前日來諄ク申上ゲルヤウデアリマスルガ、農產物關稅ノ引上ニ付テデゴザイマス、山内君モ申シマシタ通りニ、諸種ノ點ヨリ研究致シマシテ、實ハ昨年五十議會ニ貴方サンモ關稅引上ノ建議案ノ賛成者ニ御署名ヲ願ッテ居ルノデアリマスガ、御隣席ノ武内サンモ御署名ヲ願ッテ居ルノデアリマス、又四十九議會ニ於ケル農村振興建議案ニ

對シテハ、片岡商工大臣モ實ハ御署名ヲ願ッテ居ルヤウナ譯デ、私共ハ此農村振興ノ問題ニ對シテハ政黨ヲ超越致シテ今日マデ參ッタノデゴザイマス、御承知ノ如ク代議士内ニ農政研究會ヲ作ッテ、各派トモ此問題ノ爲ニハ感情ヲ離レテ溫キ握手ノ下ニ實ハ進ンデ參ッタノデアリマス、ソコデ昨年ノ建議案ト云フモノモ、名ハ建議案デアリマスケレドモ、教育費ノ國庫負擔金ノ増額二千萬元ヲ、丁度濱口藏相ノアノ頑固ナ自說ヲ枉ゲサシマデ——イヤダト仰シヤルノ無理ニ要求シマデ、アノ施政ノ方針ノ御演說中ニ十五年度カラ考慮スルト云フヤウナ言葉ヲ御挾ミ下サツテ、國民ニ公約ヲシテ戴イタ、アレト餘リ變ラヌ意味ヲ以テ、三百八名建議案ニ署名ヲ致スト云フヤウナコトハ、空前ノ問題デアリマス、又後トニ殘ッタ方モ本黨ノ方々デアリマシテ、決シテ此問題ニ反對デハナイ、唯農村振興ノ問題ヲ別ニ御出シニナツタガ爲ニ御署名ニナラナカッタノデアアルガ、其精神ハ一貫シテ居リマス、謂ハバ衆議院全體ノ希望デアリマス、其希望デアッタノガ彼處ニ現ハレテ即決可決ノ報ニ接スルヤ、農事ニ志ス者、農民ハ深く感謝致シタノデアリマス、必ズヤ此五十一議會ニハ實現シ得ラレル、而モ關稅定率法ヲ改正セラレル此絶好ノ機會ニ到着スルノデアアルカラ、無論政府案トシテ御提出ナサルモノト云フコトヲ期待シ

テ居ッタノデアリマス、然ルニ事ハ全ク期待ヲ裏切ッテ、殆ド農產物ニ對スル關稅定率ノ増額ハ顧ラレテ居リマセヌ、建議案ノ即決可決モ、衆議院ノ最大權威ト認メタアノ全員等シキ署名モ、何等現内閣ニ依テ顧ラレテ居リマセヌ、是ハ遺憾千萬ト思ヒマス、併ナガラ私ハ現政府ノ今日迄ノ御説明ニ依テ、其建議案ニ手ヲ觸ルコトナカリシコトヲ了解致シマシタガ、而モ憲政會諸君ハ決シテ心カラ政府案ニ御賛成デナイト云フコトヲ私ハ確信シテ居リマス、セメテハ農林省ニ於テ吾ミガ斯様ナ重大問題ヲ特ニ農民ノ代表トシテ、十分熱心ニ小山次官ノ御説明ノ如ク熱烈ナル力ヲ以テ、農林省ノ大官諸君ガ——大藏大臣ノ先日ノ御説明ニ依ルト云フコト、關稅定率法ニハ決シテ少數意見ト云フモノハナカッタ、商工、農林、大藏、内務此中ノ委員ガ集ッテ協議シタガ、一點爭ヒ等ハナク、滿場一致ヲ以テ斯ル原案ガ產レタノデアルト云フ御解釋デゴザイマシタ、私ハ斯クアルベキ事トハ存ジマスガ、實ハ農林省ニ對シテハ此御説明ヲ伺ッテ一ツ御恨ミヲ申上ゲタイヤウニ考ヘテ居リマス、縱令及バヌ迄モ此必要ノアルコトヲ御了解下サレバ、農村振興ノ現實ニ直面シテ居ル事情ヲ御了解下スツテ、大藏省年來ノ御希望ニ反スルコトデアリマスガ、十分爭ッテ戴キタカッタト思ヒマスガ、ソレダモナイト云フコトヲ伺ッテ實ニ殘念

ニ思ヒマス、サウシテ今日又小山次官ノ御説明ニ依ルト、農村ノ振興ハ是ハ一ニ關稅ノ引上ゲト云フ事ニ依テ得ラレルノデナイ、農村ノ振興ソレ自體——米麥ニシロ、今少シク科學ヲ應用シテ、多收穫ヲ得ルヤウナ方法、例ヘバ只今御引例ニナツタ小麥ニ對シテハ種子ヲ改良スル、耕作ヲ改良スルト云フコトニ依テ多量ニ生産スルト云フコトガ出來ル、價額ヲ引上ゲルコトガ出來ルノデアル、斯様ニ御話ニナツタ、是ハ御尤デアリマス、農村ニ參リマシレバ、吾農會ニ居リマス者ヲ、御指導下サルニ、左様ナ御言葉ヲ局長カラモ課長カラモ伺ッテ居リマスガ、農業ノ衝ニ當リ直接農民ヲ指導シテ居リマス者ハ、中ノ左様ニ參リマセヌ、種子ノ改良ナゾト農林省ガ仰ッシャツテモ、其種子ハ何處ノ地味ニモ適スルモノデナイ、地味ニ適シ風土ニ適スル適當ナル種子ヲ更ニ產出シテ、ソレニ向ッテ播種ヲ進メルデナケレバ、決シテ良結果ヲ得ラレルモノデナイ、ソレハ三年、五年、十年ト云フヤウナ短時日ノ間ニ、多收穫ヲ得ル品種ヲ改良スルト云フコトガ生レルモノデナイノデアリマス、而モ現實ノ狀態ハドウカト云フト、農村ハ振興シナケレバナラヌ實狀ニ在ル、疲弊困憊ノ極ニ在ルト云フコトハ最早ヤ議論ノ餘地ハアリマセヌ、然ラバ此疲弊困憊ヲ救フノ途ハ如何ト云フト簡明直截デ、他ノ工業、商業ト同ジク利益ヲ產出ス

ト云フコトニナレバ、農林省ガサウ云フヤウニ御指導下サルニ於テハ、良イ種子ヲ植付ケ、改良方法ヲ講ジテ多收穫モ得ルノデアリマス、一ニ農民ノ懷中ニ利益ヲ與ヘルト云フ方法ヲ御考ヘニナレバ、是ハ收穫ヲ殖スノ目的ヲ達成セラレ、而モ利益ヲ得ル方法ハ此價額ノ引上ゲデアリマス、是ガ即チ政府諸公ガ代議士デアラレタル其時ニ於テ米穀法案ナルモノガ決定セラレ、又昨年ニ於テハ價額ノ増進等ガ改正セラレタル所以デアリマス、是ハ一ニ農民ノ利益ヲ保護シタイト云フ單純ナル點カラ考ヘマシテモ、關稅ヲ引上ゲテ小麥ノ價額ヲ相當維持シタルト云フコトガ、左様ニ邪魔ニナルノデアリマスカ、私ハ此率ヲ引上ゲルノデアリマセヌ、如何ナル率迄上ゲタガ宜イカト云フノデアリマセヌ、昨年ノ議會ニ現ハレタ建議案ノ精神ト等シク農產物ノ價額、小麥ノ價額、其關稅ト云フモノノ引上ヲ爲シテ下サルト云フコトガ、第一ニ小麥ノ價額ヲ相當値上ゲテスルト云フ意味ニナル、十四年度ニ於テ十八圓ノ平均價額ナラ十九圓ニナリ、或ハ十九圓五十錢ニナル、ソレガ實ニ簡明直截ニ農村ノ利益ヲ増進スル方法デナイデセウカ、而モ一面ニ於テ次官ノ仰セノ如ク種子ヲ改良シ、或ハ多收穫ヲ得ル方法ニ付テハ農會トシテドン(働キマス、働クガ現實ニ關稅改正デ小麥

ガ一圓乃至一圓五十錢ニ上ルト云フコトニ依テ、如何ニ眠レル農民ニ刺戟ヲ與ルト云フテモ、農會ノ力ト云ツテモ萬能デアリマセヌ、唯彼等ガ諸君ノ力ニ依テ關稅ノ改正ガ出來テ、小麥ノ價額ガ一圓ナリ一圓五十錢ニ上ツテ、是ダケデ津々浦々ニ至ル迄農民ガ一層刺戟ヲ受ケテ、此小麥ノ作付段別ヲ殖シ及ビ多收穫ヲ得ル、肥料其他ノコトヲ致スニ相違ナイ、其點ハ明瞭ノ事實デアアルノデス、關稅ヲ引上ゲルト云フコトニナレバ消費者階級ガ非常ニ迷惑ヲスルト云フテ、今日迄アリ觸レタ議論ヲ以テ拒絕スルト云フコトハ遺憾ト思ヒマス、只今山口君ガ言ッタヤウニ一圓五十錢關稅ガ引上ゲニナツテモ、饅飽一杯ニ付テ僅一厘デアリマセヌカ、麵包一人前ニ對シテ僅五厘デアリマセヌカ、一厘ノ饅飽ノ値上ゲ、五厘ノ麵包ノ一食分、ソレガ斯ク生活ヲ脅威スル程ノコトデナイデセウ、生活ヲ脅威スルデセウカ、縱令是ガ生活ヲ脅威スルニ致シテモ、毎年七十萬圓以上ノ小麥ノ輸入、此金額ハ一割三分ノ率ヲ以テ殖エツツアル、其需要ガ殖エツツアルト云フコトデアリマスガ、内地產額ガ殖エナケレバ其小麥ノ輸入ハ毎年増額ヲ致スコトハ明瞭デアリマス、數年ナラズシテ一億圓以上ノ輸入ガ近キ中ニ來ルニ相違ナイ、商工大臣ノ御觀察ノ此輸入ヲ最モ嫌フト云フ側カラ考ヘテモ、何トカ五年乃至十年農民或ハ一般消費者ガ

我慢スレバ七千萬圓、一億萬圓ノ輸入ハ全滅スルノデアリマス、内地ノ小麥デ需要ガ充サレマス、自給自足ガ出來ルデアラウ、此現實ノ即チ此位ノ事ヲ消費者階級ニ望ムト云フコトハ無理デナイト思ヒマス、現内閣ハ煙草ノ値上ゲデ五千萬圓ノ收入ヲ上ゲヤウト云フ熱心ナル内閣デアアルノニ、國民ガ饅飽一杯ニ付テ一厘、麵包一人前ニ付テ五厘上ガル、之ヲ社會政策上由々敷大事デアルトシテ値上ゲラセズ、一面ニ於テハ煙草ニ對シテハ平然トシテ値上ヲスルガ如キハ、前後矛盾ト申スベキデ、農民ノ此現實ノ事實ヲ如何ニ考ヘマスカ、併シ私ガ斯様ニ申シテモ内閣諸公ニ向ッテ恨ヲ言ッタリ喧嘩ヲスルノデナイ、農林省、大藏省ニモモウ一度御再考ヲ仰ギタイサウシテ關稅定率ノ改正ノ絶好ノ機會ニ於テ多年要求スル所ノ農民ノ希望ヲ一部タリトモ達成セシメタイト云フ、熱誠カラ之ヲ述ベルノデアリマス、是ハ私共ハ最後ニ農林次官ニ御同致スノデアリマスカ、農林次官ハ果シテ昨年ノ御主張ヲモ放擲ナサツテ、消費者階級ノ爲ニ農產物ノ値上ト云フコト、國民中三千萬餘ノ多數ヲ占メテ居ル所ノ農民ノ希望ヲ退ケテシマツテモ、此建議案ヲ維持セヌケレバナラヌト云フ御考ニナラレタノデアリマセウカ、或ハ吾々共一同ガ協議ヲ致シマシタ結果、交渉ヲ致セバ多少折レテ下サルト云フ餘地ガアルデ

アリマセウガ、甚ダムツカシイ質問デ
アリマスケレドモ、御答ヲ願フテ置キマ
ス

經過、竝ニ現狀、將來ノコトモ考ヘマシ
テ、唯關稅ノコトノミヲ以テ其目的ヲ
達シヤウト云フコトニナリマスレバ、

テ稍相似タリト云フダケノ數ニマデ漕
付ケ、以テ我國ノ農產物ノ將來ノ發展
ヲ期シタイト云フ譯デアリマス、只今

ニ突ツ張りニナルノデアリマセウケレ
ドモ、ドウモ農村問題ハ政黨派ヲ超
越シテ、一生懸命汗ヲ流シテ研究シテ

○小山政府委員 長田君ノ非常ニ熱心
ナル御意見ハ謹ンデ拜聴致シマシタ、
御熱誠ニ對シマシテハ、私共農政ニ關

例ヘバ麥ノ如キニ至リマシテモ先刻モ
申上ゲマシタガ、是ナドハ非常ナ稅ヲ
掛ケルノデナケレバ到底目的ハ達成セ

度増額ヲ要求致シテ議會ノ協賛ヲ求メ
タ所ノ、農村振興基金ノ中ノ一施設ト
シテアルヤウナ譯デゴザイマス、要ハ

居ルノデアリマスカラ、近ク御承諾ヲ
仰ギタイ點ガ起ツテ來ルト思ヒマス、豫
メ御含ミ置キヲ願ヒマシテ、何分憲政

ヲ致シマス、私御熱誠ナル御鞭撻ヲ受
ケマシテ、此重大ナ使命ヲ完フシタイ
ト思ヒマス、關稅改正ノ會議ノ事ニ付

稅改正ノ目標ガ生産ノ保護、生活ノ安定
ヲ基調トシテ居ル以上、其調和公正ヲ
失ハヌヤウニト云フコトデ研究致シマ

私モ長田君ノ御熱心ナル御陳述ニ對シ
テハ其鳴ヲ致スモノデアリマス、其御
心持ニハ私モ讓ラヌト自負スルモノデ

ハ打切りマス
○星島委員 私ハ二點ダケ商工大臣ニ
御尋シテ置キタイト思ヒマス、其一點

アリ、續イテ山内君ノ質問ニ對シテ私
モ御答シテ置キマシタガ、各關係當局
ガソレソレ基礎的調査ヲ持寄りマシ

稅目ニ掲ゲテアル次第デアリマス、農
村振興ニ付キマシテハ五十議會ニ於テ
教育改善及ビ農村振興基金特別會計

此法案ヲ提出ニナツテ居ル次第デゴザ
イマス、御心ニ對シテハ私ハ全然共鳴
シ、其農村振興ヲ圖ルト云フコトニ付

ハ歐洲大戰ノ以後ニ於テ産業戰爭ト云
フコトハ、殊ニ日本ノ現在ノ經濟狀態
カラ致シマシテ非常ニ熱心ニヤラナケ

シテハ熱心ニ調査ヲ致マシテ、會議ニ
於キマシテハ滿場一致ヲ以テ茲ニ提案
ノ稅目ヲ以テ適當ト考ヘ、御協賛ヲ願

ニ、何卒シテ此基金ノ數字ノ上ニ相對
立シテ、以テ農村振興問題ヲ如實ニ數
ノ上カラ見テモ我が農家、國民ノ六割

贊ヲ求メマスル農村振興基金特別會計
七十二萬圓、之ヲ緊縮豫算ノ中カラ、ソ
レダケデモ求メタト云フコトニ付テ

デアツテ、今朝私ガ申シマシヤウニ、
商工大臣ハ海軍、農林大臣ハ陸軍デア
ル、其氣持デ御願シタイト云フコトヲ

於ケル建議案等ノコトハ申上ゲルマデ
モナク、ソレソレ審議ヲ經マシテ、而シ
テ當局ニ於テモ十分ニ研究ヲ致シテ、

以上五百萬圓以上ノ農家ノ人々ノ心ヲ
強ウシテ、以テ其施設ト相俟ッテ行キ
タイト考ヘマシタノデ、十五年度豫算

ハ、私ハ農林省トシテ他省ニ對シテ決
シテ遲レテ居ラス、寧ロ進ンダ努力
ヲ致シテ居ルト云フ誠意ヲ御認メヲ

農村ノ振興、農村ノ發展ト云フコトノ
根本ヲ、陸軍デアアルベキ農林省ガ消極
的保護ノミデヤツテ居ル、先般私ハ農林

取扱ヒ、之ニ對シテ意見ヲ披瀝スルコ
トニ致シテ居ルノデアリマス、農產物
ノ關稅ノコトニ付テ私共モ長田君ノ熱

ニ於キマシテハ農村振興費ニ對シテハ
更ニ一段ノ増額ヲ要求致シマシテ、既
ニ昨日御手許ヘ提出ニナツテ居リマス

○長田委員 モウ御尋ニスルコトハ好
イ加減ニ致シマスガ、承ハレバ更ニ十
五年度ニ於テ銀貨改鑄益金七十二萬圓

大臣ニ質問シテ、消極的ニ之ヲ保護シ
テ、關稅等ニ依テ行クヤウデハ、農村ノ
振興ハ出來ナイ、一面カラ言ヘバ日本

ガ農村振興ニ資スルノ途ナリトシテ、
御互ニ研究モ致シタノデアリマスガ、
過去數十年ニ亘ル我が農產物ノ増殖ノ

所ノ貨幣鑄造益金ヨリ七十二萬圓ヲ農
村振興基金特別會計ノ中ヘ繰入レマシ
テ、教育改善ト、農村振興ト、其數ニ於

ニ何レ此關稅問題ハ政府ハ原案ヲ其儘
ニ付ケ、以テ我國ノ農產物ノ將來ノ發展
ヲ期シタイト云フ譯デアリマス、只今

振興ハ到底出來ナイ、故ニ私ハ海軍大
臣ノ立場ニ在ル商工大臣ガ、日本ノ農

村ノ此生活ノ安定ノ爲ニ、日本人ハ一面手先ハ器用デアリ、或ハ水力ノ豊富ナ國デアルカラ、農村ノ工業ヲ非常ニ發達セシメンケレバナラヌト思フ、本來カラ云ヘバ發達シタル農村ニ於テハ、自分ノ作ッタ僅ナ穀物ヨリモ、積極的ニ農村ガ商業工業ヲ普及セシメ、ソレニ依テ農村ヲ富マシ、生活ヲ安定セシメナケレバナラヌ、白耳義、瑞西等ノ國柄ヲ見マシテモ、日本ノ國柄ハソコマデ行カナケレバナラヌ、ソコデ私ハ商工大臣ニ御尋シタイノハ、此關稅政策ノ大改正ヲナサル時ニ當リマシテ、此稅案ノ中ニサウ云フ意味ニ於テ、農村ニ一面農林省ガ保護ヲ加ヘテ居ルガ、其保護ハ今回ハ手緩イ、ソコデ商工大臣ハ農村ニ對シテ商業工業ヲ保護スル意味ニ於テ、何か特殊ノ根本の方策ヲ樹テラレマシテ、此改正案ニ現ハサレタノデアルカ、私ハ日本ノ現在カラ云ヘバ政友會ハ産業立國ヲ主張シテ居ルガ、産業立國ハ政友會ノ專賣デハナイ、總テ國民全體ガ産業立國デナケレバナラヌト思ヒマスガ、サウ云フ意味カラ致シマスレバ、實ニ今日ノ産業政策ニ於テ、此關稅改正案ハ、此戰鬭カラ致シマシテハ第一線デアリマス、斯ウ云フ際ニ當リマシテ、私ハ委員會ノ空氣カラ云ヒマシテモ、商工大臣ハ一番熱心ニヤツテ行カナケレバナラヌト思ヒマス、商工大臣ハ實業界ニ經驗深イ人デアリマスカラ、何カ日本ノ農村ノ生活

ノ安定ノ爲ニ、殊ニ農村ノ工業、農村ノ商業工業ヲ發達サセル爲ニ、關稅案ノ改正ニ當リマシテ、特別ニ御盡力ガアッタカドウカ、此點ヲ御伺シタイノデアリマス、ソレガ一ツデアリマス

○片岡國務大臣 關稅改正ノ機會ニ於テ、農村ヲシテ大ニ工業化セシムル意思若クハ方針ヲ此關稅ノ上ニ加味シタカ、ドウ云フ事ヲ考ヘタカト云フ御質問ノ要點デアルヤウデアリマス、私ハ關稅改正ニ拘ラズ、此農村ニ於テ副業トシテ成ベク工業的ノ仕事ニ從事セシメ、相當ノ成績ヲ舉ゲルヤウニセシメタイト云フコトハ、平生考ヘテ居リマス、此平生考ヘテ居リマス點ニ於テ、甚ダ遺憾ニ存ジマスルコトハ、從來副業のニ多少ノ工業的の仕事ヲシテ居ルコトハアルノデアリマスガ、何分此日本ト云フ狀態ヲ土臺トシテ、尙ホ進ンデ他ノ方面ヲ考慮ノ中ニ置イテ、副業的ノ仕事ヲシテ吳レルト宜シイト思ヒマスガ、日本ノ仕事ハ大體ニ於キマシテ、甲ノ地ニ出來ルモノガ多少聲價ヲ博スルニ至レバ、乙ノ地デ同ジモノヲ拵ヘル、丙モ亦然リ、遂ニ製品過多ニ陥リ、終ニハ粗製濫造ニ流レル、斯ウ云フ弊ニ至ルコトハ星島君モ御承知ノ通りデアル、是ハドウシテモ同ジ仕事ヲスルニシテモ、相當ノ分野ヲ定メテ、互ニ侵サズシテ自己ノ分野ノ改良ヲ試ミテ行クト云フ風ニ、根柢ヲ置カナケレバナラヌト云フコトヲ私ハ深く感ジテ居リマス、此感ジテ居リマス所ノモノハ、或ハ輸出貿易ノ方面ニ現ハレテ居ル點モゴザリマセウト思ヒマス、又工業組合ヲ拵ヘサシテ、多數ノ協同ノ力ニ依テ改善ヲスル、其改善ヲ爲スニ金ヲ要スル場合ハ、金融ノ途ヲ付ケナケレバナラヌト云フコトモ考ヘマシテ、是ハマダ議會ニ案ハ出シマセヌガ、成ベク間ニ合ウヤウニシタイト思ッテ居ルノデアリマス、要スルニ同ジ仕事ノ性質ノモノハ爭ウコトヲ避ケテ、成ベク分野ヲ定メ、又同ジ仕事ハ同ジ仕事デ協同ノ力ニ依テ改良シテ行ク、其改良ノ上ニ於テ力ガ足ラザルモノハ、或ハ機械ノ貸付ヲスルトカ、或ハ金融ノ途ヲ講ズルトカ云フガ如キ手段ハ、商工省トシテ相當心配ヲ致シテ居ル、サウシテ其目的ヲ達スルヤウニ致シタイ、從來ノ弊害ノアル所ヲ專ラ矯正スルト云フコトガ一番先ニナルモノト思ッテ、事物手ヲ著ケテ行キツツアル次第デアリマス、デ、別ニ關稅改正ト云フコトニ對シテ農家ノ副業トシテ新ニ斯ウ云フコトヲセシメル、斯ウ云フ風ニシヤウト云フガ如キコトハ主トシテ考ヘテ居リマセヌガ、然ラバ全く無視シテ居ルカト言ヘバサウデハナイ、今日ノ農家ノ副業トシテヤツテ居リマスモノハ、多クハ強テ言ヘバ雜工業ト名付ケルモノデアリマセウ、其雜工業ニ對スル關稅ハ相當配慮致シタ積リデアリマス、例ヘテ言ヘバ釐デアルトカ、其他手

仕事ニ色々ナ事ヲヤツテ居リマスガ、是ハ關稅ノ種目ニ付テ考ヘテ私ガ持ッテ居ルカ、居ラヌカト云フコトヲ御判斷ヲ下サル方ガ宜イ、茲デ此多クノ種目中カラ是モソレデアアル、是モソレデアルト指摘シテ申上ゲテモ仕方ガナイ、主トシテ此度ノ關稅ノ改正ニ關シテ農家ヲシテ工業化セシムルト云フコトヲ土臺ノ下ニ出發シテ考ヘタモノニ非ズシテ、平生カラ農家ヲシテ農業ノ傍ラ副業的ノ仕事ヲ爲サシメルコトニシナケレバナラヌ、又其副業ニ對シマシテハ弊害ノアルモノハ、之ヲ矯正スルト云フコトハ前段申上ゲタ通り、今回ノ改正ニ對シテソレ等ノ人々ノ爲シテ居ルモノニ向ッテ多少ノ保護ヲ與ヘル、ソレガ其當業者ノ利益トナリ、延イテ國ノ利益トナル、斯ウ云フモノニ對シテハ稅率ヲ按排シテ居ルノデアリマス

○星島委員 私ハ農林大臣或ハ商工大臣ハ其改正案ニ對スル根本ノ提出ヲ爲サル時ニハ、一面カラ云ヘバ、産業大改正ノ謂ハバ專務取締役デアリマス、大ニヤツテ貫ハナケレバナラヌト思ヒマスガ、ドウモ熱ガ足ラヌヤウニ思フノデアリマス、十分ナル努力ヲ希望シテ置キマシテ、此質問ヲ打切りマス、次ニ第二問トシテ先程モ大藏大臣ニ伺ッタノデアリマスガ、此關稅稅務ノ所管、將來起ルベキ關稅調查會ノ主管ノコトデアリマスガ、是ハ下ラヌコトノヤウデア

リマスガ、私ハ非常ニ結果ニ於キマシ
テ大キナ問題ニナラウト思フノデアリ
マス、例ヘバ今回ノ改正案ヲ見マシテ
モ、先程モ山本氏ノ質問ニ見マシタヤ
ウニ、全體カラ見レバ何トナシニ工業
方面ニ偏シテ居ル、工業方面ニ主ニ考
慮ガ加ッテ居ッテ、所謂農産物ニ對シテ
薄イト云フコトハ事實現ハレテ居ル、
是ハドウシテカト云フト、大藏省ノ頭
ノ良イ人達ガドツチカト云フト工業方
面ニ趣味ガ多イカラ、ドウシテモサウ
ナルノデアリマス、ソコデ私ハ國家ノ
所謂此産業戰爭ニ立チマシテ、商工省
ハ海軍ノヤウニ商工省デ大部分ヲ立案
サレテ、大藏省ニ豫算ヲ廻サレルト云
フ仕組ニナッテ居リマスガ、殊ニ此關稅
ト云フモノハ、此産業戰爭ノ斥候戰或
ハ掛引戰デアリマスカラ、本當カラ言
ヒマスレバ此商工大臣ガ之ヲ主管サレ
テ、ソレデズット調査ヲサレテ、ソシテ
唯最後ノ數字ヲ大藏省ニ求メラレルト
云フ所マデ進マナケレバナラヌト思フ
ノデアリマス、丁度幸ヒ今回大改正ト
共ニ何カノ調査會ヲ設ケルト云フコト
ニナリマスガ、サウ云フ事ヲ手始めニ、
商工大臣ハウント馬力ヲ掛ケラレテ
大藏省ニサウ云フモノヲ貰フト云フ譯
ニ行カスカ、社會局ガ出來マスル時、農
商務省ト内務省トノ引張風ニナッテ、農
商務省ガ負ケテエライ憤慨ヲシタト云
フコトヲ聞イテ居リマスガ、隨分今日
ノ行政組織ノ間ニ於キマシテハ中々困

難ト思ヒマスガ、國家ノ大局ヨリシマ
シテ御互ニ不利益ト思ヒマスカラ、私
共サウ云フモノハ商工大臣ノ主管ノ下
ニ總テノ立案ヲサルベキガ本當ト思ヒ
マス、私ハ個人ノ理想カラ言ヒマスレ
バ、本當カラ云ヘバ商工省、農林省ヲ一
緒ニシテ、産業省ト云フ大キナモノニ
致シマシテ、鐵道省、遞信省ノ一部、或
ハ内務省ノ土木局ヲ一緒ニシテ交通省
ト云フモノニシテ、統一管理スルヤウ
ニシタイ、此關稅調査會ノ如キモ、産業
調査會ト云フモノヲ置イテ、其豫算ヲ
取リマシテ、其一部分トシテ關稅々務
ノ研究ヲスルト云フヤウニ大キナ考ヲ
私個人ノ理想トシテ持ッテ居ルノデア
リマスガ、先ヅ取敢ヘズ出來ル相談カ
ラ云ヘバ、一ツソレ程ノ意氣ヲ以テ大
藏省ヨリサウ云フ方面ノ仕事ヲ取ッテ
シマフ考ハナイカ、是ハ先程モ申シマ
シタヤウニ、實際カラ言ヒマシテモ、ド
ウシテモ其主管ノ在ル所ニ熱ガ起ッテ
來ル、實際ノ結果トシテ現レテ來ル、若
シ假ニ農林省ガ主トナッテ、此主管ノ事
務ヲサレテ居ッタナラバ、吾々ノ希望ス
ルヤウナ此農村ノ保護ニ對シマシテハ
モット徹底シタ事ガアッタト思フノデア
リマス、今日ノヤウナ改正案ニナリマ
シテハ、私共關西地方ニ居リマス人間
ハ、モウ二毛作ナンカ馬鹿ラシクナッテ
止メテシマウ、實際カラ云ヒマスレバ
一毛作ト二毛作ノ所ハ地價デモ非常ナ
差ガ付イテ居ル、漸ク近頃小作爭議ガ

稍下ッテ來タケレドモ、今回ノ改正案デ
又再ビ起ッテ來ル、二毛作ハ馬鹿ラシイ
ト云フコトニナッタノデアリマス、ソレ
デ非常ニ大キナ問題ガ此改正案ノ中ニ
ハ含マレテ居ルノデアリマス、斯ウ云
フ際ニ於キマシテ一ツ將來起ルベキ關
稅ノ調査會ト云ヒマスガ、或ハ産業調
査會ト云ヒマスガ、新聞デ見マスト云
フト、是ハ別ニ商工省デアリマシタカ、
農林省デアリマシタカ、國產獎勵會ト
云フモノヲ設ケテ研究セラレルト云フ
コトデアリマスガ、サウ云フモノヲ一
緒ニシテ、本當ノ組織アル根本的ノ調
査機關ヲ設ケラレテ、サウ云フモノヲ
一ツ商工大臣ノ主管ニナサルト云フ御
勇氣、御熱心、霸氣ハナイデセウカ、聞
キマスレバ商工大臣ハ、濱口サンノ同
郷ノ先輩ノ方デアリマスカラ、ソコラ
ハ大ニ旨ク行キハシナイカト思ヒマ
ス、斯ウ云フ際ニ大ニ御努力ヲ願ヒタ
イト思ヒマス、此點ニ付キマシテ大臣
ノ御意見ヲ伺ヒタイ
○片岡國務大臣 關稅ノ主管ヲ商工省
ニシタラ宜カラウ、今度ノ調査機關ノ
如キモノヲ出來ルナラバ、其主管ヲ商
工省ニ定メタ方ガ宜カラウ、斯ウ云フ
御意見ヲ以チマシテ私ニ其意思ハナイ
カト云フ御尋ヲ蒙ッタノデアリマス、成
程此關稅ノ問題ハ主トシテ産業ノ發達
如何ニ關スル事デアリマシテ、産業ノ
發展如何ハ如何ニモ商工省ガ主タル責
任ノ地位ニ在ルモノデアリマス、只今

農林省ノ御話モ出マシタガ、農林省ト
商工省トヲ強テ區分ヲスレバ農林省ハ
原始的産業ヲ司ル所、商工省ハ商工產
業ヲ司ッテ居ル所トデモ申シマセウカ、
併ナガラ實際ニ於テハ甚ダ區分ガ難
イモノガアル、原始的ト云ヒマシタ所
ガ、例ヘバ眞珠ハ海ノ中ニ出來ル、ソレ
ヲ拵ヘ上ゲテ品物ニシテ賣買スル時分
ニハ、所謂商工省ノ問題デアリマス、海
ノ方デ云ヘバ原始的デアアル、養蠶ハ農
林省デアアルガ、之ヲ光ル生絲ニ拵ヘテ
販賣スルト云フコトニナルト商業、工
業デ、商工省ノモノデアリマス、ドウモ
其邊ノ區分ガマダ實際ニハ明ニナッテ
居リマセヌ、今迄ハ農林省ト商工省ト
ガ一緒デアッタモノヲ、二ツニ分ケタノ
デアリマスガ、其分ケタ區分モ右申上
ゲマスヤウナ譯デ、是ハ互ニ意思ノ疏
通ヲ圖ッテ、其産業ノ發展ト云フ目的
ニ向ッテ進ンデ見タイト云フノデアッテ、
是ヨリ外ニ考ハナイノデアリマシテ、
御意見ニ依リマス大藏省ガ主管ナル
ガ爲ニ、ドウモ農林省ハ餘リ顧ミラレ
ナカッタト云フヤウナ御疑ヲ持ッテオキ
デノヤウデアリマスガ、是ハ商工省ガ
主管デアリマシテモ、亦農林省ガ主管
デアリマシテモ、關稅問題ヲ解決スル
ニハ、各省ノ或ハ主管局長ノ類ヲ委員
ニシテ、サウシテ其調査研究ノ上デ決
定スルモノデアリマスカラ、今回大藏
省ニ於テ此關稅ノ事ヲ定メマシテモ、
農林省カラモ委員ガ出テ居ルシ、商工

省カラモ委員ガ出テ居ルノデ、別ニ主管ノ省ガ一方ニ在ルガ爲ニ、他ノ省ハ其意思ヲ貫クコトガ出來ナイト云フヤウナモノデハナイデアリマス、關稅其モノハ産業ノ發展ニ直接ノ關係ヲ有スル事柄デアアルカラ、主トシテ商工省ニ於テ取扱ッタル宜イデヤナイヤト云フ御議論モ一ツノ議論デアラウト思ヒマス、併ナガラ事務取扱ノ便宜カラ考ヘマス、稅關其モノガ大藏省デアアル、大藏省ノ主管デアアル、ソレ故ニ大藏省ヲ主管トシタ方ガ便宜デヤナイカト云フヤウナコトカラ、今日迄是ガ大藏省主管ニナッテ居ルノデアリマス、ドチラニシマシタカラト申シテ、他ノ省ト全ク無關係ニ、其主管ノ大臣ガ思フ存分ニ切廻シテ行クト云フ性質ノモノデヤナイ、今度ノ調査委員ヲ拵ヘタコトニシマシテモ、矢張委員ハ相互ニ關係ノアル所カラ任命セラレルニ相違ゴザイマセヌ、決シテ一方ニ偏スルト云フ如キコトノアル筈ハナイト思ヒマス、併ナガラ將來商工省ノ主管ニスル意思ハナイカ、斯様ナ抽象的ノ御質問ヲ受ケマシテモ、今迄ノ成行ガ斯様ニナッテ居リマスルカラ、今後ニ於テハ商工省ニ其主管ヲ移シタ方ガ便宜ガ遙ニ増スト云フコトニナリマスレバ、ソレハ御意見ノ如クナルデアリマセウガ、又一方ニ於テ從來ノ通りニシテ居ッタ方ガ宜シイト云フコトニナリマスレバ、其儘ニシテ置カレマセウ、斯ノ如キ問題ヲ解

決センガ爲ニ、行政調查會ト云フモノガ組織セラレテ、今ヤ調查會ニ於テ研究ヲシツアルノデアリマス、サレバ此際何トモ御答辯ノシヤウガイノデアリマス

○加藤委員長 マデアリマスカ、今ヤ四時ニ近イノデアリマスガ……

○星島委員 一言希望ヲ申述ベキ置キマス、私ノ意見ハ兩大臣ガ御採用ニナルコトハ出來スト思ヒマスガ、セメテ内閣直屬ノ各省ト同一位ノ地位ニナッテ、米國ノ如ク有力ナル大統領ノ下ニ在ルヤウニシテ貫ヒタイ、此希望ヲ述ベマシテ兩大臣ノ益大ニ勉強セラレンコトヲ希望シテ置キマス

○岡田委員 簡單ニ商工大臣ニ御尋ネ致シマス、ソレハ此各自審査ノ上ニ於キマシテ、私共ハ工業方面ナドニ付テ少シク迷フコトガアルノデアリマス、ソレハ工業ニナリマスト原料ガ一次、二次、三次ト順々ニ殖エテ行ッテ居リマス、隨テ原料品ト云フヤウナコトモ色色ニ見ラレルノデアリマス、ソコデ其保護ノ歸著點ヲ考ヘル時ニ於テ、疑義ガ生ズルノデアリマス、例ヘバ染料トカ云フヤウナ物ヲ、之ヲ今ノ原料ニ對シテ或ル程度ノ關稅ヲ増ス、サウスルト、其生産ニ從事スル者ハ保護セラレマスガ、ソレガ原料トナッテ、第二次、第三次ノ工業ニ從事スル者ト、或ハソレヲ消費スル者トガ不利益ナル影響ヲ蒙ッテ來ルヤウニ考ヘラレルノデアリ

マス、而モ其物ガ輸出品デアリマスルト云フト、尙ホ一層輸出上ノ不利益ヲ招クト云フヤウナコトガアルノデアリマスガ、ソレデモソレガ其生産者ノ個個ノ生活狀態ナドニ似タモノナラバ又問題デアリマスルガ、今紙ニ付テ申シマス、或ル輸入ノ二三ノ紙ニ對シテ、國產ヲ保護スル爲ニ關稅ヲ高率ニスルト云フト、其製造會社ハ必ズソレダケ有利ニナリマスガ、ソレガ度ミ承リマス所ノ基礎薄弱ナ生産者ト云フデナシニ、基礎ガ相當鞏固ナル有利ナル會社ノヤウニ思ハレマスガ、兎ニ角斯様ニシテ輸入品ヲ減ジテ、内地ノ生産ヲ獎勵シテ行クト云フコトニナリマスレバ

結構デアリマスルカラ、其點ハ問ヒマセヌガ、斯様ナル結果、前述ノ如キ會社ハソレダケ有利ニシテ、利益ガ増ス、ソコデ輸入品ト同様ナル製品ガ出來テモ、ソレダケハ價格ガ高クナル、隨テ今度ハ紙ヲ原料トシテ生産ヲ爲ス種々ノ工業ハ不利益ニナルト同時ニ、之ヲ使用スル者モ不利益ニナルト云フコトニナルト、便宜ヲ受ケルモノハ極メテ一少部分ノ、而モ有力ナル大會社ダゲデマッテ、其結果不利益ナル影響ヲ受ケルモノハ中間ノ種々ナル多數ノ工業者、會社ト云フモノデアアルヤウニ考ヘラレルノデアリマス、今種々御質問ノ中ニ、農村ノ副業云々ト云フヤウナコトガアッタヤウニ思ヒマスガ、私共ハ非常ニアレハ重大ナル問題ト考ヘテ居リマシ

テ、單ニ農村ダケノ問題ト申サズニ、普通ノ小工業ト云フ意味カラ御研究ヲ願ッテ見ルト、双方ノ爲ニ非常ニ重要ナコトガアラウト思フノデアリマスガ、農村ノ副業等ハ大抵二次、三次ノ工業ニナリ、今ノヤウナ場合ニハ惡イ影響ヲ受ケルコトニナルダラウト想像スルノデアリマス、サレバ今ノヤウナ場合ニ於ケル判斷ニ迷フノデアリマスガ、サウ云フ場合ニ於テハ此改正ノ御精神ハリ、又一方ニ於テ輸出貿易ノ上ニ於テモ不利デアリ、消費者ニハ無論不利デアアルガ、一部ノ大會社ノミヲ保護スルト云フコトノミ重キヲ置イテ、其他ノ方面ニハ重キヲ置カスト云フノデアリマスルカ、單ニ一番最初ノ工業ニ對シテ保護スルト云フヤウナ御精神デアッ

○片岡國務大臣 今ノ御尋ハ御趣意ハ分リマシタガ、事物ニ當嵌メテ見ナイト一寸判斷ヲ仕兼ネルノデアリマスルガ、最初此關稅ノ率ノ按排致シマスルニ際シマシテハ、今ノ御話ノヤウナ所マデハ十分ニ考慮シテ、一方ニ工業ヲ保護シ、一方ニソレガ爲ニ非常ナ打撃影響ヲ被ムルコトヲ、或ル部分ニ對シテハソレヲ考ヘテ、相當偏頗ナコトハナイヤウニ致シタ積リデアリマス、併ナガラ何カ事柄ヲ指摘シテ御尋ヲ蒙リマシタナラバ、ソレハ斯ウ云フ譯デアアル

ト申スコトガ出来マスガ、總體トシテハ考慮シテアルト申スヨリ仕方ガナイ、尙ホソレ等ノ詳細ノコトハ政府委員ガ委シイノデアリマスカラ、細目ニ至ッテハ政府委員カラ述ルコトニ致シマシテ、私ハ考慮シナケレバナラヌト云フ方針ダケヲ定メタト云フコトヲ申シテ置キマス

ヲ保護スルト云フコトハ輸出入ノ上カラ見テモ尙ホ多數ノ惡イ影響ガアルナラバ、ソレハ考慮シテ、是ノミニ保護ヲ與ヘナイト云フ御方針デアリマス、ソレデモソチラガ必要ナラバ保護スルト云フ御方針デアリマス、ソレヲ御尋致シマス、更ニ各自ニ付テハ又別ニ伺フコトニ致シマス

○片岡國務大臣 各般ニ互ッテ相當考慮シテ居ル積リデアリマスガ、萬一御話ノヤウナコトガ此澤山ノ關稅ニ一ツモナイトハ斷言ガ出来ナイカモ知レマセヌ、仍テ斯様ナ事柄モアルト云フコトヲ期シタノデアリマセヌケレトモ、即チ一方ニ調査機關ナトヲ拵ヘテ置クト云フコトガ如キコトモ、平生關稅ト云フコトニ重キヲ置イテ議會ガ開ケル、ソコデ委員ヲ拵ヘテ調ベルト云フコトデナシニ、關稅ノ不備若クハ害ト云フコトヲ調査シテ、最善ノモノニシタイト云フ意思モ、矢張此調査委員ヲ設ケルト云フコトノ中ニ入ッテ居ルノデアリマス、御尋ノ要點ニ對シテハ相當ニ餘程ノ注意ヲ拂ッタ積デアリマス、事細クハ申上ゲマセヌガ、例ヘバ染料ノ如キモノニシマシテモ、是ハ一方ニ制限ヲ行ッテ居リマスガ、制限ヲ行ッタ爲ニ内地ノ染織業者ガ非常ニ困ルト云フコトニナッテハ一向何モナラナイノデ、染織業者ニ影響ヲ與ヘナイ方法ヲ別ニ考慮シテ居リマス、今後染料問題ヲ根本的ニ解決スルコトニ付テモ考

○岡田委員 細目モ宜イ、ソレモ伺ヒマスガ、私ハ斯ウナルノデアリマスマイカト思ヒマス、之ヲ窮極スルト云フト此根本觀念ニ於テ關係者ノ生活問題ニナル、多數ノ者ノ生活ト云フコトガ常ニ基礎ニナルカ或ハ一國ノ總テノ生産物或ハ貿易關係ノ總量其物ヲ主トスルカニ依テ別レルノデハナイカト思ヒマス、茲ニ其總量ノ爲メトカ、總量ノ利益デアルト見テ、總量ヲ主トスルコトガ宜イトナルト、ソレモ亦一ツノ方針デアリマス、ケレドモ、内面ノ分配機關ト云フコトニナルト、今度ハ社會問題ガ起ッテ來ルノデアリマスガ、此社會政策ト云フコトハ十分ニ考慮シテアルト云フ御説明デアリマスガ、私ガ個人ノ生活ノ方面カラ見タイト思ッテ見ルト云フト、只今ノヤウナ疑義ガ起ルノデアリマス、併ナガラ斯ウ云フコトヲ承ッテ見タイト思ヒマス、抽象的デ分ラヌトシマシテモ、或一部ノ一番本ニナル所ノモノニ對シテ保護ヲ加ヘテモ、何カノ都合デ不利益ナル影響ガ外ニ往クト云フコトニナリマスナラバ、箇々

○加藤委員長 是デ一般質問ハ終了ヲ告ゲマシテ、明日午前十時カラ種類別ノ質問ニ入ルコトニ致シマス、左様御承知ヲ願ヒマス、本日ハ是ニテ散會致シマス

午後四時五分散會

大正十五年二月八日印刷

大正十五年二月九日發行

衆議院事務局

印刷者 民友社